

西 表 石 垣 国 立 公 園

公園計画書

[第 4 次点検]

令和 6 年 3 月 28 日

環 境 省

目 次

1	基本方針	1
2	規制計画	4
(1)	保護規制計画等	4
ア	特別地域	4
(ア)	特別保護地区	5
(イ)	第1種特別地域	8
(ウ)	第2種特別地域	20
(エ)	第3種特別地域	35
イ	海域公園地区	42
ウ	関連事項	53
(ア)	採取等規制植物	53
(イ)	捕獲等規制動物	57
(ウ)	乗入れ規制区域	58
(エ)	捕獲等規制動植物及び区域	60
(オ)	普通地域	72
エ	面積内訳	73
3	事業計画	75
(1)	施設計画	75
ア	保護施設計画	75
イ	利用施設計画	76
(ア)	単独施設	76
(イ)	道路	80
a	車道	80
b	歩道	81
(ウ)	運輸施設	82
(2)	自然体験活動計画	85
4	参考事項	88
(1)	過去の経緯	88

別添 供覧用総括図

1 基本方針

西表石垣国立公園は、琉球諸島の最南端に位置する八重山列島のうち、西表島及び石垣島の一部並びにその間に広がる石西礁湖内外の島々とその周辺海域からなり、原生的な亜熱帯性照葉樹林、河川・河口域に広がるマングローブ林、日本最大のサンゴ礁海域といった我が国を代表する亜熱帯特有の自然景観と自然環境を背景に育まれてきた琉球特有の街並みや祭祀などの文化景観が特色の公園である。

西表島は、昭和 47 年 4 月 18 日に琉球政府により西表琉球政府立公園として指定され、昭和 47 年 5 月 15 日に沖縄の復帰に伴い「沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律」及び「沖縄の復帰に伴う環境庁関係法令の適用の特別措置に関する法律」により西表国立公園として見なされた。西表島は琉球列島南端の南琉球に含まれている。琉球列島は、大陸の縁が島しょ化し、さらに海峡等により北琉球、中琉球（奄美群島、沖縄諸島等を含む）、南琉球（先島諸島）に分断され形成され、その中で南琉球は中琉球と分断された後も、台湾島との一時的な接続、近隣島しょ間での分離・結合などを経て、隔離され形成されたと考えられている地域である。この結果、西表島には、イリオモテヤマネコやヤエヤマセマルハコガメ等の台湾や大陸との近縁関係が強いが独自の進化を遂げた「新固有種」が多く生息している。さらに、ハナサキガエル類など、中琉球との間で種分化した「新固有種」も多く見ることができる。このように、地史が反映された新固有種などの生物相がみられることが、本地域の特徴である。西表島は、豊富な雨量に支えられて、島の大部分を占める亜熱帯性常緑広葉樹林や、溪流・河川、島の周縁部の後背湿地等が発達し、豊かな自然生態系の基盤となり、カンムリワシやイリオモテトンボソウといった固有種を含む多くの絶滅危惧種等が確認されている。仲間川河口部の日本最大規模のマングローブ植物群落や船浦のニッパヤシ群落、古見のサキシマスオウノキ群落などの特徴的な植生が見られ、ピナイサーラやマリユドゥ、カンピレー等の滝や大見謝川等の独特の河川景観を有する。原生的な亜熱帯性常緑広葉樹林も多く残されており、その背景には過去マラリアの蔓延により開発圧が抑えられた歴史も関係している。古くから集落は限られた地域にのみ形成されており、そこには自然と寄り添いながら形成された特色のある集落景観や自然を崇敬した文化が色濃く残っている。例えば、祖納、干立地区では節祭という伝統行事は現在も行われており、伝承されてきた島唄の井戸端サヌアブダーマには西表島に生きる生き物や人々の長寿を願った様態を見て取ることができる。

石垣島の一部は、平成 19 年 8 月 1 日に編入された地域である。石垣島の一部の核心部である沖縄県最高峰の於茂登岳及び周辺地域は、スダジイやオキナワウラジログシ等からなる亜熱帯性常緑広葉樹林が良好な状態で保全されており、多くの固有又は希少な動植物の生息地・生育地となっている。また、沿岸部においては、多様な海底地形によりサンゴ群集が広がり、河口にはマングローブ植物群落が発達している。特に、名蔵湾

においては、石灰岩等の溶けやすい岩石が地下水系によって溶食されてできる沈水カルスト地形が複数の氷期―間氷期を経て形成されており、その規模は日本最大と考えられている。この沈水カルスト地形により 様々な起伏が海中に存在することから、海底の照度や波浪強度が大きく異なることで、湾内に多様な環境が存在し、多様性の高い生態系が生み出されていると考えられる。

竹富島、小浜島、黒島、新城島、波照間島、鳩間島等の周辺の離島地域には、各島に固有の自然や文化が多く残されており、祭事などの伝統行事が今も大切に継承されている。祭事の中には、地域独自の自然資源を活用したものも多く見られ、自然と文化が一体となり、景観や生物多様性が保全されている。これらは本公園の重要な要素の1つとなっている。

西表島と石垣島の上に広がる石西礁湖は、日本国内最大のサンゴ礁海域である。本海域を含む八重山諸島海域では、360 種を超える造礁サンゴが確認されており、日本列島で確認されている数の8割以上がこの海域で確認されている。サンゴは、規模や形態が多様であることから、多くの海洋生物の採餌・繁殖の場となっており、海洋生態系の中心となっている。また、その豊かな生態系は地域の人々に恩恵をもたらし、直接的な漁業資源として利用されるほか、サンゴ礁そのものが自然の防波堤の役割を担い、周辺に点在する島の人々の安全を守っている。さらには、上布の海晒し、伝統漁法、アンパルヌミダガーマウンタをはじめとする民謡等の文化にも影響し、独特の風土を作り上げている。

以上のことから、亜熱帯性常緑広葉樹林の生態系やマングローブ生態系、サンゴ礁生態系などの島しょ部における山・川・海のつながりが体感できることが本公園ならではの価値である。その基盤となる風致景観や自然資源の保護を図るとともに適正かつ安全な質の高い利用を推進すると同時に、生物多様性の確保にも寄与するため、以下の方針により公園計画を定める。

(1) 保護の方針

原生的な状態で亜熱帯性常緑広葉樹林がまとまって存在し、固有種又は希少な動植物の生育・生息地として生物多様性上重要である、西表島最高峰の古見岳及び御座岳を中心とする中央部並びに沖縄県最高峰である石垣島の於茂登岳北東部等については、厳正な保護に重点をおいた計画とする。また、外来種の侵入による生態系への影響、交通事故や違法採集などの希少種等へ人為的影響が懸念される地域、土流出・高水温化による白化・オニヒトデの大量発生によるサンゴ礁への影響が生じている海域についても、生物多様性の確保にも寄与する風致景観の維持が図られるよう調査等を継続する。

(2) 利用の方針

本公園内の各地域で特有の自然環境及び文化を学習・紹介するための博物展示施設の

整備を行うとともに、陸海域の自然探勝の拠点となる園地や歩道、係留施設等の利用施設の整備を図る。

また、地域ごとの特徴的な景観・地形地質・生態系・文化等に触れ、その成り立ちや本公園の価値を理解し、自然保全及び育まれてきた文化の保全継承に対する意識が醸成される質の高い自然体験活動を促進する。ただし、地域内の各エリアの特性や実態に合わせて、自然環境や地域住民の生活へ悪影響が無いように留意した計画とする。

2 規制計画

(1) 保護規制計画等

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表 1：特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	石垣市 字新川、字石垣、字伊原間、字大浜、字川平、 字崎枝、字白保、字桃里、字登野城、字名蔵、 字野底、字平得、字平久保、字桴海、字真栄里 及び字宮良の各一部	7,001 国 13 公 6,457 私 341 不明 190
	八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 101 林班から 136 林班ま で、139 林班、140 林班、142 林班から 160 林班 まで、162 林班から 164 林班まで、166 林班か ら 171 林班まで、173 林班から 186 林班まで、 189 林班から 192 林班まで、194 林班から 196 林 班まで、199 林班から 207 林班まで及び 211 林 班の全部並びに 137 林班、138 林班、141 林班、 161 林班、172 林班、187 林班、188 林班、193 林 班、197 林班、198 林班、208 林班及び 209 林班 の各一部	26,999 国 24,862 公 355 私 827 不明 955
	八重山郡竹富町 字崎山の全部並びに字西表、字上原、字黒島、 字小浜、字古見、字高那、字竹富、字南風見、 字南風見仲、字波照間及び字鳩間の各一部	
合 計		34,000 国 24,875 公 6,812 私 1,168 不明 1,145

(ア) 特別保護地区

特別地域のうち、次の区域を特別保護地区とする。

(表 2 : 特別保護地区総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	石垣市 字大浜、字川平、字平得、字桴海、字真栄里及び字宮良の各一部	557 国 0 公 557 私 0 不明 0
	八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 110 林班から 119 林班まで、122 林班から 127 林班まで及び 195 林班の全部並びに 120 林班、182 林班から 184 林班まで、197 林班、198 林班、200 林班及び 201 林班の各一部	4,624 国 4,624 公 0 私 0 不明 0
合 計		5,181 国 4,624 公 557 私 0 不明 0

(表3：特別保護地区内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面 積 (ha)
於茂登岳	沖縄県石垣市 字大浜、字川平、字平得、字 桴海、字真栄里及び字宮良の 各一部	県下最高峰の於茂登岳（526m）の東側及び北東側に位置し、スダジイ、イスノキが優占する亜熱帯地域の極相林が発達しているほか、山地上部には風衝地に成立するリュウキュウチク林が見られ、一帯は、特定植物群落「於茂登岳・桴海於茂登岳一帯の植生」に指定されている。 また、八重山諸島固有種のアサヒナキマダラセセリ、イシガキニイニイやエヤマヤシ群落など、学術的にも貴重な動植物の生息・生育地となっており、本公園の核心部として、厳正に保護を図るべき場所である。	557 国 公 私 不明 0 557 0 0

西表島中央部	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 110 林 班から 119 林班まで、122 林 班から 127 林班まで及び 195 林班の全部並びに 120 林班、 182 林班から 184 林班まで、 197 林班、198 林班、200 林班 及び 201 林班の各一部	当該地は浦内川源流域及び仲間川源流域並びに西表島最 高峰の古見岳（469m）及び御座岳を中心とする一帯である。 わが国を代表する亜熱帯性常緑広葉樹林が原生的な状態 でまとまりをもって残存しており、本公園の代表的な景観と なっている。森林帯の大部分はスダジイ林によって占めら れ、低地谷筋にはオキナワウラジロガシ林が生育し、上流谷 筋にはアカメイヌビワ、ホンバタバツ林が生育し、浦内川の源 流部は溪流帯に希少性のあるヒメホラシノブが特異に分布 している。 また、西表島を含む八重山諸島の固有種（イリオモテヤマ ネコ・アサヒナキマダラセセリ等）や北限種（カンムリワシ・ セマルハコガメ等）となっている野生動植物の生息、生育地 ともなっていることから、公園の核心部として、特に厳正な 保護を図る。	<table><tr><td>国</td><td>4, 624</td></tr><tr><td>公</td><td>0</td></tr><tr><td>私</td><td>0</td></tr><tr><td>不明</td><td>0</td></tr></table>	国	4, 624	公	0	私	0	不明	0
国	4, 624										
公	0										
私	0										
不明	0										
合 計			<table><tr><td>国</td><td>5, 181</td></tr><tr><td>公</td><td>4, 624</td></tr><tr><td>私</td><td>557</td></tr><tr><td>不明</td><td>0</td></tr></table>	国	5, 181	公	4, 624	私	557	不明	0
国	5, 181										
公	4, 624										
私	557										
不明	0										

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	石垣市 字石垣、字大浜、字川平、字名蔵、字野底、 字平久保、字桴海及び字宮良の各一部	744 国 1 公 611 私 83 不明 49
	八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 105 林班から 109 林班まで、121 林班、128 林班から 131 林班まで、143 林班から 154 林班まで、156 林班から 160 林班まで、162 林班から 164 林班まで、166 林班から 171 林班まで、174 林班から 181 林班まで、189 林班から 192 林班まで、194 林班、196 林班、199 林班、203 林班及び 205 林班から 207 林班までの全部並びに 102 林班から 104 林班まで、120 林班、136 林班、137 林班、142 林班、155 林班、161 林班、165 林班、173 林班、182 林班から 186 林班まで、188 林班、193 林班、197 林班、198 林班、200 林班から 202 林班まで、204 林班及び 208 林班の各一部	16,707 国 15,646 公 41 私 197 不明 823
	八重山郡竹富町 字西表、字上原、字古見、字崎山、字南風見、字南風見仲及び字波照間の各一部	
合 計		17,451 国 15,647 公 652 私 280 不明 872

(表5：第1種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面 積 (ha)
だいじょうり 大地離	沖縄県石垣市 字平久保の一部	平久保崎の北、約 400mに位置する無人島である。周囲は断崖に囲まれ、ベニアジサシ、エリグロアジサシ等海鳥の繁殖地となっている。本地区は平久保崎から展望する場合の眺望対象として重要であることから、優れた風致の保護を図るべき場所である。	3 国 0 公 0 私 2 不明 1
かがわ 嘉良川	沖縄県石垣市 字平久保の一部	平久保半島北部に位置する嘉良川一帯であり、河口部にはマングローブ林が発達している。その下・中流部には他に類を見ない規模のサガリバナの大群落が形成されており、そこに生息する多様な底生生物と相俟った特徴的な風致を形成していることから、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するとともに適正な利用を図るため、第1種特別地域とする。	16 国 0 公 16 私 0 不明 0

吹通川一帯 ふきどろがわ	沖縄県石垣市 字野底の一部	亜熱帯地域特有の植生であるマングローブ林の島内における代表的な分布域であり、特定植物群落「吹通川のマングローブ林」に選定されている。 また、流域には環境省レッドデータブック（2006）において準絶滅危惧種に選定されているミナミオニヌマエビ、ヤエヤマヤマガニが生息している。 本地区は石垣島を代表するマングローブ林景観を有し、野生動植物の生息・生育地として重要であることから、優れた風致の保護を図るべき場所である。	40 国 0 公 40 私 0 不明 0
川平小島 かひらくしま	沖縄県石垣市 字川平の一部	川平湾の湾口に位置し、小島をはじめ、真謝離、サイ離などサンゴ礁の岩島から構成される地区である。 本地区は潮汐や気象条件により刻々と色彩が変化する内湾水面と相俟って、当該地区の眺望対象として景観上高い価値を有していることから、優れた風致の保護を図るべき場所である。	36 国 0 公 34 私 0 不明 2
於茂登岳	沖縄県石垣市 字大浜、字川平、字檳海及び 字宮良の各一部	於茂登岳から北西方向に連なる山系の北側斜面及び檳海於茂登岳の南側からなる地区で、特別保護地区に隣接する地区である。一帯はスダジイ、イスノキ林が優占する亜熱帯地域の極相林が発達し、山地上部には風衝地に成立するリュウキュウチク林が見られる。また、荒川の上流部には、県内唯一のカンヒザクラ自生地（国指定天然記念物）が存在し、一帯は名勝に指定されており、優れた風致の保護を図るべき場所である。	521 国 0 公 521 私 0 不明 0

名蔵アンパ ル	沖縄県石垣市 字石垣及び字名蔵の各一部	石垣島西海岸の名蔵湾に面した名蔵川河口に位置し、特定植物群落「名蔵川河口域のマングローブ林」に選定されている。また、マングローブ林、干潟、海浜、海岸林からなる多様な自然環境が渡り鳥の中継地、森林性鳥類の生息地として国際的にも重要であることから、平成 17 年 11 月にラムサール条約登録湿地となっている。本地区は我が国を代表する優れたマングローブ林景観を有し、野生動植物の生息・生息地として重要であることから、優れた風致の保護を図るべき場所である。	128 国 公 私 不明 1 0 81 46
浦内川	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 107 林班の全部並びに 102 林班から 106 林班まで、108 林班、109 林班、128 林班から 131 林班まで、136 林班及び 137 林班の各一部	浦内川の上流域から河口までを含む地域である。 河口部には、マングローブ林が広がり、世界でも 3 地域にしか存在しないヤエヤマヤシ群落の一つである千立御嶽のヤエヤマヤシ自生地や、絶滅危惧種であるミモチシダの群落があり、良好な風致を呈している。 また、上中流域には、スダジイやオキナワラジロガシを主体とした亜熱帯照葉樹林が広がり、イリオモテヤマネコやカンムリワシ、コガタハナサキガエルなどを含む多くの希少な野生動植物の生息・生育地になっている。さらに、県内最長の河川である浦内川には、ウラウチフエダイやハヤセボウズなどの希少種をはじめ、約 400 種の多様な汽水性魚類や周縁性魚類が生息しており、海から山への一体的な保全が必要とされる。 河川においては、遊覧船やカヌーによるマングローブツア	816 国 公 私 不明 732 0 0 84

		一が盛んであり、西表島横断道の路線が整備され、カンピレ一の滝やマリユドウの滝など、本公園の主要な景観要素も有する。 以上のことから、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するとともに適正な利用を図るため、第1種特別地域とする。									
高那古見	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 121 林班、189 林班から 192 林班まで、194 林班、196 林班、199 林班及び 203 林班の全部並びに 120 林班、188 林班、193 林班、197 林班、198 林班、200 林班から 202 林班まで及び 204 林班から 206 林班までの各一部 沖縄県八重山郡竹富町 宇古見の一部	西表島最高峰の古見岳を中心とする山塊の南麓から東側、北西方向に連なる山系までを区域とする。山間部にはヤブツバキクラスの照葉樹林帯が良好な状態で残存し、イリオモテヤマネコやカンムリワシを含む多くの希少種の生息環境として利用されている。 また、大見謝川、ユツン川、相良川、後良川や前良川といった主要な河川をはじめとする大小の河川には、ツバサハゼやキバヲシノボリ、ヒゲソリオコゼなどの希少な魚類が多数生息している。 さらに各河川の河口部にはヤエヤマヒルギを中心とした大規模なマングローブ林が形成されており、とくに相良川、後良川及び前良川の河口部には、西表島の東部地域でのみ見られるハマザクロも生育している。 以上のことから、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するため、第1種特別地域とする。	3,606 <table><tr><td>国</td><td>3,598</td></tr><tr><td>公</td><td>0</td></tr><tr><td>私</td><td>6</td></tr><tr><td>不明</td><td>2</td></tr></table>	国	3,598	公	0	私	6	不明	2
国	3,598										
公	0										
私	6										
不明	2										

ヒナイ川・ にしだがわ 西田川	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 204 林班から 207 林班までの各 一部 沖縄県八重山郡竹富町 字上原の一部	スダジイやオキナワウラジロガシを主体とした原生的な亜 熱帯照葉樹林やマングローブ林などが広がり、イリオモテヤマ ネコやカンムリワシの他、キババヨシノボリを含む多様な魚類 の生息地である。 また、カヌー利用等も盛んに行われ、国立公園の主要景観要 素にもなっているビナイサーラの滝を有する。 以上のことから、山から海までの生態系を一体的に保全し、 優れた風致を厳正に保護するとともに適正な利用を図るため、 第 1 種特別地域とする。	376 国 公 私 不明
ふなうら 船浦	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 208 林班の一部	ニッパヤシ群落は国内では西表島の船浦と内離島のみに見 られ、特に船浦のニッパヤシ群落は自生地の北限として植物 地理学上極めて重要で、貴重であることから特定植物群落、 国指定天然記念物、植物群落保護林に指定されている。 また、環境省レッドリストでは、野生での絶滅の危険性が 極めて高いとして絶滅危惧Ⅱ類から絶滅危惧ⅠA類に見直され ており、ニッパヤシ群落の衰退が危惧される状況である。 以上のことから、ニッパヤシ群落を主とする優れた風致を 厳正に保護するため、第 1 種特別地域とする。	4 国 公 私 不明

西表島中央部	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 105 林班、106 林班、108 林班、109 林班、128 林班、129 林班、147 林班から 149 林班まで及び 207 林班の各一部	西表島最高峰の古見岳に次ぐ高さであるテドウ山とその流域を含む区域であり、山間部には照葉樹林帯が良好な状態で残存しており、山地上部には風衝地に成立するリュウキョウチク林が見られる。当該区域においてイリオモテヤマネコやカンムリワシなど希少野生生物の生息情報が多数得られており、これらの種の重要な生息地となっている。 以上のことから、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するため、第 1 種特別地域とする。	1,311 国 公 私 不明
波照間森	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 144 林班の全部並びに 130 林班、131 林班、143 林班、145 林班から 159 林班まで及び 181 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	波照間森を中心とする仲良川上流部とクイラ川上流部の稜線を含む区域である。植生は、原生的な亜熱帯照葉樹林とリュウキョウマツの混在する二次林から構成されている。 また、仲良川上流部にはキババヨシノボリや西表島固有種のワタナベオジロサナエなど希少な野生動植物が生息・生育している。 以上のことから、固有で希少な野生生物の生息環境にもなっている優れた風致を厳正に保護するとともに適正な利用を図るため、第 1 種特別地域とする。	2,672 国 公 私 不明

仲良川	仲良川は、本島で3番目に長い河川であり、流域にはマン グローブ林やスダジイやオキナワウラジロガシ等からなる亜 熱帯照葉樹林が広がり、イリオモテヤマネコやカンムリワシ 等の希少野生生物の重要な生息地になっている。一方、仲良 川の上流域にあるナーラの滝へのカヤック・トレッキング利 用も行われている。	以上のことから、山から海までの生態系を一体的に保全 し、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するとと もに適正な利用を図るため、第1種特別地域とする。	595	
			530	国
			0	公
			33	私
			32	不明
仲良川	仲良川は、本島で3番目に長い河川であり、流域にはマン グローブ林やスダジイやオキナワウラジロガシ等からなる亜 熱帯照葉樹林が広がり、イリオモテヤマネコやカンムリワシ 等の希少野生生物の重要な生息地になっている。一方、仲良 川の上流域にあるナーラの滝へのカヤック・トレッキング利 用も行われている。	以上のことから、山から海までの生態系を一体的に保全 し、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するとと もに適正な利用を図るため、第1種特別地域とする。		

崎山半島 さきやまはんとう	沖縄県八重山郡竹富町内	当該区域ではイリオモテヤマネコ及びカンムリワシの生息情報が多数得られており、これらの希少野生生物の重要な生息地であることが近年の調査結果から明らかになっている。	2, 959			
	国有林沖縄森林管理署 162 林班から 164 林班まで及び 166 林班から 168 林班までの全部並びに 160 林班、161 林班、165 林班及び 169 林班の各一部	フクギの巨木等が数多く見られることが当該区域の特徴的な風致を形成している。		2, 324		
	沖縄県八重山郡竹富町	さらに、大小ある河川沿いには源流域の亜熱帯照葉樹林から河口のマングローブ林・干潟に至るまで連続性を有する生態系が良好に維持されており、人為活動をほとんど受けていない自然風景が残存している。一方で近年利用拠点として注目を集めつつある箇所もある。			3	
	宇西表及び字崎山の各一部	以上のことから、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するとともに適正な利用を図るため、第 1 種特別地域とする。				23
		国				
		公				
		私				
		不明				

クイラ川	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄縄森林管理署 170 林班の全部並びに 155 林班 から 161 林班まで及び 169 林 班の各一部	クイラ川上流から河口のマンングローブ林・干潟まで連続性を有する生態系が維持されており、人工物のない自然の地形が良好に残存している。 また、ピーミチ川河口は水落滝となっており船で滝まで直接アプローチできるため、かつては石炭運搬船や軍艦の真水採取場所として使われていた形跡が残る歴史的価値のある場所である。 さらに、本区域ではイリオモテヤマネコやカムリワシ、キシノウエトカゲなどの希少野生生物の生息情報が多数あり、これらの種にとって重要な生息地となっている。 また、ウブ浜・サザレ浜はアオウミガメの産卵場所になっており、200m を超える稜線から海まで一気に下っていく急崖地景観が東西に広がっており、他にはない海岸景観を作り出しており、近年ではカヤックツアーやダイビングの折の休憩スポットとしての利用も盛んである。 以上のことから、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するとともに適正な利用を図るため、第 1 種特別地域とする。	1, 171 国 公 私 不明 1, 086 0 0 85
------	--	--	---

なかがわ 仲間川	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 171 林班及び 174 林班から 180 林班までの全部並びに 173 林班及び 181 林班から 186 林班までの各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字南風見及び字南風見仲の各一部	仲間川は西表島で 2 番目に長い河川であり、ヤエヤマヒルギ、メヒルギ、オヒルギ等からなる日本最大規模のマングローブ林が広がっており、流域一帯のマングローブ林は「仲間川天然保護区域」として国の天然記念物に指定されている。島内屈指の観光スポットであり、動力船やカヤックによる利用の多い場所となっている。 また、当該地はイリオモテヤマネコやカンムリワシ、ヤエヤマセマルハコガメに加えて、渡り鳥であるクロツラヘラサギやセイタカシギ、サシバなど多くの希少野生生物の生息情報が多い数得られている区域である。 以上のことから、特別保護地区に準ずる優れた風致を厳正に保護するとともに適正な利用を図るため、第 1 種特別地域とする。	3, 179 国 公 私 不明 3, 024 20 131 4
たかざき 高那崎	沖縄県八重山郡竹富町 字波照間の一部	波照間島南東岸に位置し、琉球石灰岩が常に強い潮風にあって浸食されてできた海食崖が 1 km 程続いている。岩礁に荒波が押し寄せ、波しぶきが舞い上がる雄大で優れた海岸景観を形成していることから、優れた風致の保護を図るべき場所であることから第 1 種特別地域とする。	18 国 公 私 不明 0 18 0 0

合 計	17,451
	15,647
	652
	280
	872
	国 公 私 不明

(ウ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	石垣市 字新川、字石垣、字伊原間、字大浜、字川平、 字崎枝、字白保、字桃里、字登野城、字名蔵、 字野底、字平久保、字桴海及び字宮良の各一部	1,315 国 0 公 1,158 私 53 不明 104
	八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 101 林班、135 林班及 び 211 林班の全部並びに 102 林班から 104 林 班まで、132 林班から 134 林班まで、136 林 班、137 林班、155 林班、161 林班、172 林 班、173 林班、185 林班から 188 林班まで、19 3 林班、202 林班、204 林班、208 林班及び 20 9 林班の各一部	
	八重山郡竹富町 字西表、字上原、字黒島、字小浜、字古見、 字崎山、字高那、字竹富、字南風見、字波照 間及び字鳩間の各一部	3,010 国 2,148 公 295 私 498 不明 69
合 計		4,325 国 2,148 公 1,453 私 551 不明 173

(表7：第2種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面 積 (ha)
平久保半島	沖縄県石垣市 字伊原間、字桃里、字野底及 び平久保の各一部	本地区は石垣島の北東部に位置し、山地部には「伊原間半島安良岳やすらの植生」を始め、特定植物群落しゅつぶつりゅうらくが4箇所選定されている。また、「平久保のヤエヤマシタン」が国の天然記念物に指定されており、本地区を特徴づける植生が多く見られる。野底岳は通称「野底マーペー」と呼ばれ、山頂は円筒状の巨岩が屹立する特異な景観を呈している。 本地区は山地、海岸線及び島の周囲に発達したリーフが形成する風致が優れており、野底岳及び玉取崎等から展望する場合の眺望対象として重要であることから、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	582 国 公 私 不明 0 528 6 48
基高 もとたけ 前 まえ 高 たけ	沖縄県石垣市 字川平の一部	本地区は川平湾の西側に位置し、前嵩の山頂付近には、ケナガエサカキースダジイ群落やリュウキュウチク群落をはじめとした自然植生が見られる。 また、当該地区は川平湾及び崎枝湾と一体となった景観を形成していることから、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	25 国 公 私 不明 0 25 0 0

米原海岸 よねはら	沖縄県石垣市 字川平及び字桴海の各一部	本地区は変化に富んだ自然海岸となっており、多様な地形と自然度の高い植生が連続している。 また、於茂登岳に端を発した山原川一帯は、山地から海岸にかけて良好な自然環境を保っていることから、隣接する海城公園地区と一体的に良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	48 国 公 私 不明 0 26 12 10
屋良部半島 やらぶ	沖縄県石垣市 字崎枝の一部	本地区は石垣島の西端に位置し、北西部の海崖は、常に強い潮風が当たることからヤブラン、コウライシバ、カシヨウアブラスキ等を主体にした特徴的な風衝草地が発達している。一方、南部の海岸線には、テリハボク等の海岸植生を主体とした良好な自然海岸が維持されており、これらの風衝草地及び自然海岸からなる良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	99 国 公 私 不明 0 78 0 21
大マンゲー・小マンゲー だいしやう	沖縄県石垣市 字桃里の一部	本地区はホウラ岳の東側に位置し、約 5500～6500 万年前に海底の地層が隆起して形成されたものである。島の隆起、沈降の状況を知る上で、地史的に重要であるため、天然記念物に指定されている。独特の景観に加え、学術的な重要性も高いことから、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	16 国 公 私 不明 0 16 0 0

しらみづがわ 白水川流域	沖縄県石垣市 字大浜、字登野城、字名蔵及び 字宮良の各一部	於茂登岳の西側、ぶざま岳に至る山地の南側に位置し、名蔵側の水源として豊富な水量を有している。一帯はケナガエサカキースダジイ群落が大半を占め、良好な溪流景観を呈していることから、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	474 国 公 私 不明
なぐら 名蔵アンパ ル	沖縄県石垣市 字新川、字石垣及び字名蔵の 各一部	本地区は石垣島西岸の名蔵湾に面した名蔵川河口に位置する。名蔵アンパル湿地の西側に南北2kmにわたって形成された砂州地形は、自然環境保全基礎調査において「自然景観資源」として選定されていることから、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	47 国 公 私 不明
しらほ 白保海岸	沖縄県石垣市 字白保の一部	本地区は石垣島南東岸に位置し、沿岸部にグンバイヒルガオークロイワザサ群落からなる海浜植生が見られる。 また、当該地区の砂丘地形は自然環境保全基礎調査において「自然景観資源」として選定されていることから、隣接する海域公園地区と一体的に良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	24 国 公 私 不明

宇那利崎 ・浦内	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 209 林班の一部 沖縄県八重山郡竹富町 字上原の一部	住吉半島の海岸沿いの保安林で潮害防備林に指定され、ア ダンが優占する低木群落やモクマウ類の植林地などからな るまとまった海岸林が形成されている。 また、トゥドゥマリ浜は多くの観光客が海水浴を楽しむ場 所である。トゥドゥマリ浜及びその沿岸海域と一体となった 自然海岸が形成する風致の保護と適正な利用を図るため、第 2種特別地域とする。	30 国 20 公 6 私 0 不明 4
鳩離島・赤 離島・アト ウク岩・マル マボンサン 岩・グーザ岩	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 167 林班地先（グーザ岩） 沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 208 林班の一部 沖縄県八重山郡竹富町 字上原の一部（鳩離島） 沖縄県八重山郡竹富町 字高那の地先岩礁（赤離島） 沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 137 林班の一部（アトウク岩） 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の地先岩礁（マルマボ ンサン岩）	西表島の周囲に位置する無人島で、岩礁が多く存在し、白 浜南風見線道路（車道）や展望地からの海上景観の重要な構 成要素となっているほか、鳩離島、赤離島は海鳥の生息地と しても重要な場所である。 また、公園利用の観点では、シーカヤックの上陸地として 利用されている。 以上のことから、風致の保護と適正な利用を図るため、第 2種特別地域とする。	5 国 0 公 0 私 1 不明 4

ほしだて 千立	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄縄森林管理署 137 林班の一部 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	浦内川河口部の外海に面した区域である。原生的な照葉樹林と二次林が混在しており、浦内川ロードパークの展望台や浦内橋から高い自然性を感じさせる眺望は、西表島を代表する特徴的な風致を形成している。 また、広大なマングローブ林に接しており、マングローブゴマハゼなどの希少な魚類が生息する河川地域に隣接していることから、当該区域の魚介類等の生息環境保全の観点から重要な地域である。 以上のことから、風致の保護を図るため、第2種特別地域とする。	273 <table><tr><td>国</td><td>158</td></tr><tr><td>公</td><td>79</td></tr><tr><td>私</td><td>24</td></tr><tr><td>不明</td><td>12</td></tr></table>	国	158	公	79	私	24	不明	12
国	158										
公	79										
私	24										
不明	12										
うらうちがわ 浦内川	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄縄森林管理署 101 林班及び 135 林班の全部並びに 102 林班から 104 林班まで、132 林班から 134 林班まで及び 136 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	浦内川の中流域に位置し、亜熱帯照葉樹林が広がる場所であり、イリオモテヤマネコやカンムリワシ等の生息情報も得られていることから、生息地としての自然環境の保全強化が必要である。浦内川の遊覧船の乗り場やウタラ炭鉱跡に至る遊歩道が整備されており、西表島西部における主要な利用拠点となっている。 以上のことから、風致の保護と適正な利用を図るため第2種特別地域とする。	657 <table><tr><td>国</td><td>655</td></tr><tr><td>公</td><td>0</td></tr><tr><td>私</td><td>2</td></tr><tr><td>不明</td><td>0</td></tr></table>	国	655	公	0	私	2	不明	0
国	655										
公	0										
私	2										
不明	0										

伊武田	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 204 林班及び 208 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字上原の各一部	クーラ川、ナダラ川及び西田川流域の一帯で、海岸付近はリュウキウマツヤスダジイなどの二次林であるが、山間部は亜熱帯照葉樹林が原生的な状態で広がっている。 公園利用上主要な動線である白浜南風見線道路（車道）沿いを中心に固有種のイリオモテヤマネコや北限種のカンムリワシなどの生息情報が数多く得られており、これらの希少野生生物の重要な生息地となっている。 以上のことから、風致の保護と適正な利用を図るため、第2種特別地域とする。	522 国 232 公 5 私 285 不明 0
高那	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 202 林班の一部 沖縄県八重山郡竹富町 字高那の一部	西表島の北岸に位置しており、ケナガエサカキースダジイ群落やハドノキーウラジロエノキ群落が広がっている。当該地は固有種であるイリオモテヤマネコやイリオモテミナミヤンマ、北限種であるカンムリワシなどの生息情報が多数得られており希少野生生物の重要な生息地となっている。 以上のことから、風致の保護と適正な利用を図るため、第2種特別地域とする。	193 国 38 公 113 私 25 不明 17

外離島 そとばなりじま ・内離島 うちばなりじま	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄縄森林管理署 155 林班の一部 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	西表島西部の白浜集落の沖に位置する無人島で、ガジュマル・クロヨナ群集やリュウキウマツ群落が優占する亜熱帯照葉樹林が広がっている。内離島の南西側、外離島の北西側海岸部は海に落ち込む急な崖地となっており、雄大な風致を呈している。なお、両島ともシーカヤックツアーの休憩地として利用されており、また、内離島は過去に石炭の採掘が行われた炭鉱跡が数カ所あり、簡易な栈橋や歩道が整備され、炭鉱跡を巡る観光利用がなされている。 以上のことから、風致の保護及び適正な利用を図るため、 第2種特別地域とする。	国	341
			公	180
			私	9
			不明	137
				15

サバ崎	沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	西表島西部のサバ崎先端部の一部であり、リュウキウマツ群落やアダゲンが優占している。当該地には船浮港灯台及びその管理用歩道が整備されているが、シーカヤックのツアーでは休憩地としても利用されている。 以上のことから風致の保護と適正な利用を図るため、第2種特別地域とする。	国 公 私 不明 3003
ふなまき 船浮	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 161 林班の一部 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	船浮集落の周囲の二次林であり、リュウキウマツ群落が優占している。集落の西側にあるイダの浜は波が穏やかな自然性の高い砂浜海岸であり夏には多くの観光客で賑わう。また、集落の南側は太平洋戦争の時代には要塞として利用されていた場所でもあり、それらの探訪を含め観光利用も盛んである。 以上のことから、風致の保護と適正な利用を図るため、第2種特別地域とする。	国 公 私 不明 4032080

古見・古見南	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 185 林班から 187 林班まで及び 193 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字古見の一部	西表島東部に位置し、西表野生生物保護センターが所在する区域である。周囲はハドノキーウラジロエノキ群落やリュウキウマツ群落が優占しており、固有種であるイリオモテヤマネコやイリオモテミナミヤンマ、北限種であるカンムリワシなどの生息情報も多数得られている。 これらの希少野生生物の重要な生息・生育地であることから、風致の保護と適正な利用を図るため、第2種特別地域とする。	267 国 264 公 3 私 0 不明 0
崎山半島	沖縄県八重山郡竹富町 字崎山の一部	西表島西部に位置する旧網取集落周辺の一帯で、ハドノキーウラジロエノキ群落が優占している。網取、崎山半島の調査研究や利用の拠点となっている東海大学海洋研究所があり、シーカヤックの上陸地点として公園利用上の重要な地点である。 また、固有種であるイリオモテヤマネコや北限種であるカンムリワシなどの生息情報も多く得られており、希少野生生物の重要な生息・生育地となっている。 以上のことから、風致の保護と適正な利用を図るため、第2種特別地域とする。	7 国 0 公 2 私 4 不明 1

平西島・ 後良川小島	沖縄県八重山郡竹富町 字古見の一部	後良川河口の海域公園地区の中に位置する平西島及び後良川小島は亜熱帯照葉樹林が広がり、地域でも嶽として親しまれている。 以上ことから、風致の保護及び適正な利用を図る必要性の高い地域である。	1 0 1 0 0 国 公 私 不明
仲間川・南風見	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 172 林班及び 173 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字南風見の一部	仲間川の西側に位置する区域で、仲間川へ流れ込む支流を含んでいる。その河岸部分にはマングローブ林が形成されており、仲間川を囲うような山地部の眺望とともに特徴的な風致と生態系が形成されている。 波照山はリュウキュウマツ林からなり、展望台が整備され、八重山諸島と仲間川流域の自然及び集落が一望できる眺望を有している。 また、西側にかけて琉球石灰岩の岩肌が点々とのぞく牧草地から自然度の高い急峻な山肌へと連続して変化する特有の風致を呈している。 以上ことから、風致の保護と適正な利用を図るため、第2種特別地域とする。	497 479 5 13 0 国 公 私 不明

仲間崎	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 187 林班及び 188 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字南風見の一部	西表島の南東部の仲間崎の海岸沿いの保安林で潮害防備林に指定されている。マングローブ群落が広がり、ミナミコメツキガニ等の甲殻類が数多く生息し、シギ・チドリ類も採餌のため干潟を利用している。 また、広大な干潟であることから散策などの利用もされている。 以上のことから、仲間崎からの海上景観との一体的な風致の保護を図るため、第2種特別地域とする	48 〔国 39 公 1 私 1 不明 7〕
鳩間島中森	沖縄県八重山郡竹富町 字鳩間の一部	鳩間島中央に位置し、ビロウが群生している標高 34mの展望地は、対岸の西表島の雄大な景色を眺望できる良好な景勝地として利用が盛んである。 以上のことから、風致の保護及び適正な利用を図る必要性の高い地域である。	5 〔国 0 公 3 私 2 不明 0〕
小浜島大岳	沖縄県八重山郡竹富町 字小浜の一部	小浜島北部の大岳を中心とする一帯である。大岳山頂には園地が整備されており、そこからは石西礁湖の他、西表島をはじめとする礁湖内の多くの島々を望むことができる。公園利用上重要な場所として活用を図る必要性の高い地域である。	13 〔国 0 公 13 私 0 不明 0〕

竹 富 島 西 海 岸	沖縄県八重山郡竹富町 字竹富の一部	竹富島西海岸の一带である。当該地には、広大な砂浜が広がるコンドイ浜、ホシスナの多いカイジ浜など、美しい砂浜が広がっており、夏期を中心に多くの利用者が訪れている。 また、砂浜の後方にはハスノハギリ等からなる海岸林も残存しており、それらは砂浜と一帯となって海岸域の景観を構成している。今後も竹富島における自然探勝の拠点の一つとして風致の保護を図るとともに、より快適な利用を促進する必要性の高い地域である。	15 国 公 私 不明 0 1 14 0
----------------	----------------------	--	--

黒島西海岸	沖縄県八重山郡竹富町 字黒島の一部	黒島西部の海岸域一帯である。特に美しい砂浜景観の広がる西の浜は希少種となっているアオウミガメ、アカウミガメ、タスマインの産卵地となっており、ウミガメの保護を図っていく上で重要な場所となっている。 また、仲本海岸はサンゴ礁の海岸地形や動植物の観察適地として多くの利用者が見られ、公園利用上重要な場所となっている。 今後も多くの利用者が予想されることから、ウミガメの生息環境の保護も含めた当該地の風致の保護を図るとともに、既存園地等を活用した快適かつ安全な利用を促進する必要性の高い地域である。	38 国 公 私 不明 0 36 2 0
波 照 間 島 はまさき 浜崎	沖縄県八重山郡竹富町 字波照間の一部	波照間島北西の海岸域一帯であり、グンバイヒルガオ等海浜植生が成立し、白砂の美しい砂浜が広がるニシ浜及び樹齢数100 年と言われるハマシタン群落が海食海岸に成立するペー浜があり、自然探勝地として利用が盛んである。 以上のことから、風致の保護及び適正な利用を図る必要性の高い地域である。	25 国 公 私 不明 0 6 13 6
波 照 間 島 たかな 高那	沖縄県八重山郡竹富町 字波照間の一部	波照間島南東岸に位置し、雄大で優れた海岸景観を形成している高那崎の後背にある自然海岸林となっている。 以上のことから、風致の保護及び適正な利用を図る必要性の高い地域である。	2 国 公 私 不明 0 2 0 0

波 照 間 島 南 海 岸	沖 縄 県 八 重 山 群 竹 富 町 字 波 照 間 の 一 部	波 照 間 島 南 部 の 海 岸 域 一 帯 で あり、変 化 に 富 ん だ 海 食 海 岸 が 続 き、風 衝 植 生 が 成 立 し て い る。我 が 国 の 有 人 島 で 最 南 端 の 景 勝 地 と し て 利 用 が 盛 ん で あ る。 以 上 の こ と か ら、風 致 の 保 護 及 び 適 正 な 利 用 を 図 る 必 要 性 の 高 い 地 域 で あ る。	10 国 公 私 不 明
仲御神島 なかのうがんじま	沖 縄 県 八 重 山 郡 竹 富 町 内 国 有 林 沖 縄 森 林 管 理 署 211 林 班 の 全 部 沖 縄 県 八 重 山 郡 竹 富 町 内 字 崎 山 の 一 部	西 表 島 の 南 西 15km に 位 置 す る 無 人 島 で あ る。周 囲 を 断 崖 で 囲 ま れ た、荒 々 し い 島 嶼 景 観、強 風 の た め 矮 小 化 し た ガ ジ ュ マ ル 等 の 特 異 な 植 生 が 見 ら れ る ほ か、海 鳥 の 集 団 繁 殖 地 と し て 知 ら れ て い る。セ グ ロ ア ジ サ シ、オ オ ミ ゼ ナ ギ ド リ、ク ロ ア ジ サ シ、カ ツ オ ド リ 等 が 生 息 し て お り、本 島 の 全 域 が 天 然 記 念 物 に 指 定 さ れ て い る。学 術 的 価 値 も 高 く、適 切 な 風 致 の 保 護 を 図 る 必 要 性 が 高 い 地 域 で あ る。	18 国 公 私 不 明
合 計			4,325 国 公 私 不 明

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)										
沖縄県	石垣市	4, 385										
	字伊原間、字大浜、字川平、字崎枝、字白保、字桃里、字登野城、字名蔵、字野底、字平得、字平久保、字桴海、字真栄里及び字宮良の各一部	<table><tr><td>国</td><td>12</td></tr><tr><td>公</td><td>4, 131</td></tr><tr><td>私</td><td>205</td></tr><tr><td>不明</td><td>37</td></tr></table>	国	12	公	4, 131	私	205	不明	37		
	国	12										
	公	4, 131										
私	205											
不明	37											
八重山郡竹富町内												
	国有林沖縄森林管理署 139 林班、140 林班の全部並びに 102 林班、103 林班、132 林班から 134 林班まで、136 林班から 138 林班まで、141 林班、142 林班、188 林班、197 林班、198 林班、208 林班及び 209 林班の各一部	<table><tr><td>国</td><td>2, 658</td></tr><tr><td>公</td><td>2, 444</td></tr><tr><td>私</td><td>19</td></tr><tr><td>不明</td><td>132</td></tr><tr><td></td><td>63</td></tr></table>	国	2, 658	公	2, 444	私	19	不明	132		63
国	2, 658											
公	2, 444											
私	19											
不明	132											
	63											
	八重山郡竹富町											
	字西表、字上原、字古見及び字高那の各一部											
		7, 043										
		<table><tr><td>国</td><td>2, 456</td></tr><tr><td>公</td><td>4, 150</td></tr><tr><td>私</td><td>337</td></tr><tr><td>不明</td><td>100</td></tr></table>	国	2, 456	公	4, 150	私	337	不明	100		
国	2, 456											
公	4, 150											
私	337											
不明	100											
合 計												

(表9：第3種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面 積 (ha)
平久保半島	沖縄県石垣市 字伊原間及び字平久保の一部	本地区は石垣島北東部の半島に位置し、山地部と海岸線との斜面は牛馬の放牧地として利用され、シバ草原の中にソテツが点在する独特の牧野景観を呈している。 当該地区は、野底岳及び玉取崎から展望する場合の眺望対象として重要であることから、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	1,253 国 公 私 不明 1 1,175 74 3
平久保川	沖縄県石垣市 字平久保の一部	平久保半島北部に位置する平久保川一帯であり、山地と山麓の放牧地や農地とともに川の下・中流部にはサガリバナの群落、河口部にはマングローブ群落が形成され、良好な風致を呈している。 当該区域は農林業との調整を図りながら、山間部から海岸線付近までの一体的な風致の保護及び適正な利用を図る必要性の高い地域である。	46 国 公 私 不明 0 34 12 0

野底岳周辺	沖縄県石垣市 字伊原間、字大浜、字白保、字桃里、字野底、字桴海及び字宮良の各一部	本地区は野底岳からホウラ岳にかけての山地であり、島内のランドマークとして主要な景観要素となっている。植生の大半はケナガエサカキースダジイ群落であるが、山麓部にはリュウキュウマツ、イヌマキをはじめとする植林地が点在している。 また、野底岳の周辺は、風衝地にタブノキ、ヤブニッケイ等から構成される森林が成立し、ショウキランの群落等があることから、「野底マナーペの植生」として特定植物群落に選定されている。 当該地区は、林業との調整を図りながら、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	1,508 国 公 私 不明 11 1,466 30 1
伊土名	沖縄県石垣市 字野底の一部	石垣島におけるマングローブ林の代表的な分布域であるが、当該区域はその林縁部の外側に位置し農地として利用されており、農業との調整を図りながら、風致の維持を図るため、第3種特別地域とする。	2 国 公 私 不明 0 2 0 0

於茂登岳山麓	沖縄県石垣市 字大浜、字川平、字崎枝、字登野城、字名蔵、字平得、字桴海及び字真栄里の各一部	本地区は野底岳からホウラ岳にかけての山地であり、島内のランドマークとして主要な景観要素となっている。植生の大半はケナガエサカキースダジイ群落であるが、山麓部にはリュウキユウマツ、イヌマキをはじめとする植林地が点在している。 また、野底岳の周辺は、風衝地にタブノキ、ヤブニッケイ等から構成される森林が成立し、ショウキランの群落等があることから、「野底マナーペの植生」として特定植物群落に選定されている。 当該地区は、林業との調整を図りながら、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	839 国 公 私 不明 0 811 4 24
--------	--	---	--

川平湾周辺 かへい湾	沖縄県石垣市 字川平の一部	本地区は川平湾の沿岸及び隣接する前嵩からなる。植生は、ケナガエサカキースダジイ群落が優占するほか、リュウキユウマツの植林地が広がり、農地としての利用も盛んである。 また、代表的な石灰岩地砂浜の海岸林として、「仲筋村ネバ御嶽の亜熱帯海岸林」が県の天然記念物として指定されており、本地区の植生を特徴づけている。 当該地区は、農林業との調整を図りながら、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	347 国 公 私 不明 0 253 85 9
屋良部半島 やらふ	沖縄県石垣市 字崎枝の一部	本地区は石垣島の西端に位置する。半島中央部は「屋良部岳の植生」として特定植物群落に選定されており、自然度の高い風衝性常緑広葉樹林としてガジュマル・クロヨナ群落が広がるほか、イヌマキ等の植林地が点在する。 当該地区は、林業との調整を図りながら、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	390 国 公 私 不明 0 390 0 0
上原山	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 102 林班、103 林班、208 林班及び 209 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字上原の一部	西表島の最北の山である上原山と浦内川上流へ続く稜線への始点を含む区域で農地も点在する。上原山山頂へは道路も整備され上原の集落や鳩間島が眺望できる場所となっている。 また、当該区域では固有種のイリオモテヤマネコの生息情報が得られている。 以上のことから、農業との調整を図りながら、森林と眺望景観の保全に留意して風致の維持を図るため、第3種特別地域とする。	722 国 公 私 不明 702 1 0 19

高那	沖縄県八重山郡竹富町 字高那の一部	西表島の北岸のヨシケラ付近に位置し、農地とその背後にはハドノキーウラジロエノキ群落が優占する亜熱帯照葉樹林が広がる区域である。 また、西表島固有種のイリオモテヤマネコや北限種であるカシムリワシなどの生息情報も得られており、これらの希少野生生物の生息地としても重要である。 以上のことから、農業との調整を図りながら、風致の維持を図るため、第3種特別地域とする。	54 国 公 私 不明 0 4 49 1
そないだけ 祖納岳・ウシク森	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 139 林班、140 林班の全部並びに 132 林班から 134 林班まで、136 林班から 138 林班まで及び 141 林班、142 林班の各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	白浜の東側で祖納岳からウシク森を中心とするまとまったケナガエサカキースダジイ群落及び植林のリュウキウマツ林からなる二次林であり、イリオモテヤマネコやエヤマハナダカトンボなどの固有種の生息地にもなっている。 また、白浜林道の入り口には、水田があり農業が行われているほか、林道入口では春にエヤマボタルが発生するため多くの観察者が訪れるナイトツアーが行われている。 以上のことから、農業との調整を図りながら、風致の維持及び適正な利用を図るため、第3種特別地域とする。	1,253 国 公 私 不明 1,185 6 43 19

ほしだて 平立	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 138 林 班の一部 沖縄県八重山郡竹富町 字西表の一部	西表島北西部に位置し、国指定天然記念物「星立天然保護区 域」に隣接する区域であり、水田が広がっている。 また、当該区域では西表島固有種のイリオモテヤマネコや北 限種であるカンムリワシなどの生息情報が得られており、生息 地としても重要である。 以上のことから、当該地区は農業との調整を図りながら、風 致の維持を図るため、第 3 種特別地域とする。	4 国 1 公 0 私 2 不明 1
古見・古見南	沖縄県八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 188 林 班、197 林班及び 198 林班の 各一部 沖縄県八重山郡竹富町 字古見の一部	古見岳登山道入り口を含み県道沿いには水田が広がってい る。東側に伸びる半島には亜熱帯照葉樹林の二次林となってお り海岸沿いにはマングローブ林が広がっている。 また、イリオモテヤマネコ及びカンムリワシの生息情報も得 られている。さらに古見岳登山道は西表島の主要な登山道の一 つであり、利用拠点となりうる区域である。 以上のことから、当該地区は農業との調整を図りながら、風 致の維持及び適正な利用を図るため、第 3 種特別地域に振り替 える。	625 国 556 公 8 私 38 不明 23
合 計			7,043 国 2,456 公 4,150 私 337 不明 100

イ 海域公園地区

海域公園地区を次のとおりとする。

(表 10：海域公園地区表)

番号	名 称	区 域	地区の概要	面 積 (ha)
1	竹富島タキドゥ ングチ・ 石西礁湖北礁・ ヨナラ水道	沖縄県八重山郡竹富町 字小浜及び字竹富地先並 びに字古見地先海面の一 部	竹富島北側から小浜島北側沖合に続くリーフ周辺一帯の海域である。礁斜面には枝状・卓状ミドリイシ類が主体の高被度のサンゴ群集が連続して広がり、混成景観が美しい。スギノキミドリイシ、クロマツミドリイシ、コエダミドリイシを主体とする枝状サンゴと、ハナバチミドリイシ、クシハダミドリイシを主体とする卓上サンゴが混成する。やや深場ではユビエダサンゴが群生する。 平成 10 年に発生した大規模白化現象により、当該海域のサンゴ群集は壊滅的なダメージを受けたものの、現在では良好な状態まで回復しており、石西礁湖のサンゴ再生産への貢献度は高い。 魚類相としては、多様性に富み、魚影も濃く、キンギョクダイ科、スズメダイ科などの出現が多い。 以上のことから、優れた海中景観の維持を図る必要のある地区である。	3,281.9

2	竹富島シモビシ	沖縄県八重山郡竹富町 字竹富地先	竹富島南西約3 km 沖の大型離礁。離礁の北側一帯は砂礫の堆積した浅い海域となり、南側一帯はサンゴ岩盤が張り出し、その礁縁部は「縁溝－縁脚系」がよく発達して複雑な地形を形成する。 礁縁部はサンゴ類の被度が極めて高く、スギノキミドリイシ、クロマツミドリイシを主体とする枝状ミドリイシとハナバチミドリイシ、クシハダミドリイシを主体とする卓上ミドリイシの混成景観が美しい。 魚類相としては、多様性はやや劣るが、魚影が濃く、ハタ科、ベラ科等の出現が多い。 以上のことから、優れた海域景観の保護を図る必要がある地区である。	221. 0
3	黒島ウラビシ・ キャングチ・ 仲本海岸 なかもと	沖縄県八重山郡竹富町 字黒島地先	黒島周囲沖合一帯の海域である。北東約2 km 沖合にある大型離礁であるウラビシや、黒島東岸約500mほど沖合にある裾礁のキャングチは、かつてはサンゴ類の被度が非常に高く、過去の白化現象等により壊滅的な状況に陥ったものの、潮流の通りもよく、現在は回復傾向を示しており、石西礁湖のサンゴ再生産への貢献度が高い海域と期待される。 また、西側の仲本海岸沖合はサンゴ礁の海底地形と動植物の観察適地として、ダイビングや海水浴の利用も盛んである。 以上のことから、優れた海域景観の保護及び適正な利用を図る必要がある地区である。	2403. 2

4	新城島 マイビシ	沖縄県八重山郡竹富町 字新城地先	新城島上地北西 1 km 沖に位置する離礁群周辺の海域であり、南西端の比較的大きな離礁と細かな多数の離礁を含み、水深は浅く、最深でも 10m に満たない。ハナバチミドリイシ、クシハダミドリイシを主体とする卓上ミドリイシを中心とした景観が見られ、ハナヤサイサンゴ属のサンゴも多く見られる。離礁状のサンゴ類の成育は良好で、卓上ミドリイシ類の景観が鑑賞できる。 魚類相としては、チョウチョウオ科、ハゼ科の出現が多い。 以上のことから、優れた海中景観の保護を図る必要のある地区である。	179. 7
5	平久保	沖縄県石垣市 字平久保地先	本地区は平久保崎西側から平久保集落沖合に到る海域であり、裾礁が発達している。礁原から礁斜面にかけては、枝状ミドリイシ類を主体とした高被度のサンゴ群集が形成されており、海水の透明度も高い。短期的には被度の盛衰が見られるものの、長期的には安定しており、周辺海域へのサンゴ幼生の供給源になっているとも考えられることから、保全の必要性が高い海域である。 魚類相としては、チョウチョウオ科、スズメダイ科、ベラ科などのサンゴ礁魚類を主体とした構成で、特にスズメダイ科の出現が多い。 また、陸域からの人為的影響が比較的少なく、外洋に面して潮通しも良いため、石垣島周囲のサンゴ礁の中でも良好な	176. 9

			サンゴ群集が保たれている場所であることから、海中景観の保護を厳正に図る必要性の高い地区である。	
6	かびらいいさき 川平石崎	沖縄県石垣市 字川平地先	川平半島の北東岸に位置する本地区では「平成16年度環境省広域モニタリング調査」において、被度が60～75%の非常に良好なサンゴ群集が礁池から礁縁にかけて確認されている。特に、枝状・卓状ミドリイシ、ユビエダハマサンゴ等が優占している。 また、オニイトマキエイが頻繁に目撃される場所として有名なダイビングスポットが存在する他、周辺にはウミガメの産卵場が存在している。 本地区は石垣島周囲のサンゴ礁の中でも良好なサンゴ群集が保たれている場所であることから、海中景観の保護を厳正に図る必要性の高い地区である。	274.8
7	よねはら 米原	沖縄県石垣市 字川平及び字桴海の各地 先	本地区では、礁池内の浅い場所にサンゴ群集が高い被度で広がっている。ミドリイシ類、シコロサンゴ類、ハマサンゴ類等の多種混成型のサンゴ礁生態系が見られ、魚種も豊富である。スノーケル等による自然観察が手軽に楽しめるスポットとして公園利用上重要な場所となっている。 本地区は石垣島周囲のサンゴ礁の中でも良好なサンゴ群集が保たれ、利用者の自然探勝に適した場所であることから、海中景観の保護を厳正に図る必要性の高い地区である。	129.7

8	白保	沖縄県石垣市 字白保地先	石垣島南東岸の宮良湾から東岸の通路川河口までの南北約12km、最大幅約1 km に及ぶ裾礁のうち、本地区は白保集落の北側に位置する海域である。礁池内ではアオサンゴやユビエダハマサンゴが優占する他、一部ではコモサンゴ類が優勢である。特にこの地区に特徴的なアオサンゴの大群落は、北半球では最大規模のものとされている。 また、ハマサンゴ類やアオサンゴの巨大な群体によるマイクロアトールも多数見られ、本地区の海中景観を特徴づけている。近年はグラスボート等による観光利用も増加しており、観光資源としても重要な地区である。 魚類相としては、チョウチョウウオ科、スズメダイ科、ベラ科などのサンゴ礁魚類を主体とした構成で、特にスズメダイ科の出現が多い。 本地区は、学術的価値及び観光資源の両面から重要な場所であることから、海中景観の保護を厳正に図る必要性の高い地区である。	311.6
9	平野	沖縄県石垣市 字平久保地先	平久保崎北側から浦崎東側沖合に至る海域であり、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜が折り合って優れた景観を形成し、景勝地として利用の盛んな平久保崎灯台からの眺望対象となっている。 以上のことから、優れた海上景観の保護を図る必要がある地区である。	938.0

10	あかいし 明石	沖縄県石垣市 字伊原間地先	安良崎東側からトムル崎東側沖合に至る海域であり、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜が折り合って優れた景観を形成し、久宇良岳中腹にありパラグライダー発出場として利用される展望地からの眺望対象となっている。 以上のことから、優れた海上景観の保護を図る必要がある地区である。	861.6
11	たまとりさき 玉取崎	沖縄県石垣市 字伊原間地先	伊原間放牧場東側から大野崎東側沖合に至る海域であり、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜及び遠望にある牧草地や照葉樹林の山地部が一体となって折り合い、優れた景観を形成している。また、景勝地として利用が盛んな玉取崎展望台からの眺望対象となっている。 以上のことから、優れた海上景観の保護を図る必要がある地区である。	903.0
12	よねはら 米原ブカピー	沖縄県石垣市 字川平及び字桴海の各地 先	米原海岸の1.5km 沖にある環礁周辺の海域である。礁原には卓状ミドリイシ類を、礁斜面には枝状ミドリイシ類や塊状ハマサンゴ類を主体とした高被度のサンゴ群集が形成されている。陸域からの人為的影響が比較的少なく、長期的に安定した良好なサンゴ群集が保たれており、ダイビングスポットとしても盛んに利用されている。 以上のことから、優れた海中景観の保護を図る必要がある地区である。	147.4

13	うがんさき 御神崎	沖縄県石垣市 宇崎枝地先	屋良部半島御神崎西側から屋良部崎西側沖合に至る海域であり、発達したリーフに複雑で多様な海底地形が広がり、ダイビングスポットとしても盛んに利用されている。また、礁斜面には卓状ミドリイシ類を主体とした高被度のサンゴ群集が形成されている。 以上のことから、優れた海中景観の保護を図る必要のある地区である。	291.9
14	鳩間島・ うなりさき 宇那利崎	沖縄県八重山郡竹富町 字上原地先海面の一部	西表島の宇那利崎から浦内川河口に至る海域は、礁池内はハマサンゴ類、礁斜面は枝状ミドリイシ類や卓状ミドリイシ類を主体とした高被度のサンゴ群集が形成され、リーフと色鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜が一体となった優れた海域景観を呈している。 また、浦内川河口は後背にマングローブ林、海浜及び干潟からなる多様な自然環境が形成され特有の景観を呈している。さらにダイビングスポットとしても利用が盛んである。鳩間島と西表島の間に堆積したサンゴ砂礫の干出域周辺の海域である。枝状ミドリイシが優占する高被度のサンゴ群集が広がり、海水の透明度が高い。 また、周辺海域の青さとバラスの白さのコントラストが優れた景観を形成し、スノーケリング等マリンスポーツの利用も盛んである。 以上のことから、優れた海域景観の保護及び適正な利用を図る必要のある地区である。	1,419.1

15	西表島後良川河口	沖縄県八重山郡竹富町 字古見地先	西表島後良川河口に位置し、後背にマングローブ林、海浜及び干潟からなる多様な自然環境が見られる。ミナミコメツキガニ等の多様な底生生物が豊富に生息するとともに、イリオモテヤマネコの生息も確認され、野生生物の生息及び生育地としても重要である。 以上のことから、優れた海域景観の維持を図る必要がある地区である。	369.0
16	竹富島南沖礁	沖縄県八重山郡竹富町 字竹富地先	竹富島南約2km 沖の離礁が点在する海域である。枝状ミドリイシ類が優占する礁池や卓状ミドリイシ類が優占する礁池が混在し、その被度は極めて高く、優れたサンゴ礁景観が形成されている。 また、海水の透明度は高く、ダイビングスポットとしても盛んに利用されている。 以上のことから、優れた海中景観の保護及び適正な利用を図るため、海域公園地区とする。	424.2
17	西表島 かのかわなかのせ 鹿川中瀬	沖縄県八重山郡竹富町 字崎山地先	西表島鹿川湾の裾礁及び離礁を含む海域であり、高い被度で多様なサンゴ類が混成している。 魚類相としては、タカサゴやイスズミなどの大きな群れのほか、ナンヨウマンタの回遊も見られる。また、ダイビングスポットとしても盛んに利用されている。 以上のことから、優れた海中景観の保護及び適正な利用を図るため、海域公園地区とする。	380.6

18	西表島仲間崎	沖縄県八重山郡竹富町 字南風見仲地先	西表島仲間崎の地先に位置し、広大で水平的な干潟景観を有する自然海浜となっており、沿岸部に沿ってマングローブ林が成立し、干出域にはミナミコメツキガニを始めとする多様な生物が見られる。 以上のことから、優れた海上景観の保護を図る必要がある地区である。	193.6
19	波照間島ヌービ崎沖	沖縄県八重山郡竹富町 字波照間地先	波照間島大泊浜北側からペムチ浜東側沖合に至る海域である。風衝植生が成立し、地形の変化に富む連続した海食海岸に隣接しており、海域と一帯となって優れた景観が形成されているとともに、当該海域の北側においては、対岸の西表島の雄大な景色を眺望できる。 以上のことから、優れた海上景観の保護を図る必要がある地区である。	1,721.7
20	波照間島浜崎沖	沖縄県八重山郡竹富町 字波照間地先	ニシ浜北側からペー浜西側沖合に至る海域である。仲御神島が遠望でき、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜が折り合って優れた景観が形成されている。 また、高い被度で多様なサンゴ類が混成し、良好なサンゴ礁景観が形成され、ダイビングや海水浴の利用も盛んである。 以上のことから、優れた海域景観の保護及び適正な利用を図る必要がある地区である。	712.9

21	西表島大見謝	沖縄県八重山郡竹富町 字上原地先	西表島大見謝川の河口に位置し、後背にマングローブ林、海浜及び干潟からなる多様な自然環境が形成されており、特有の海域景観を呈している。 また、マングローブ湿地固有の多様な底生生物が豊富に生息しており、イリオモテヤマネコなどの野生生物の餌資源の供給という観点でも重要な区域である。 さらに、県道から干潟に至る歩道が整備されており、マングローブ林や干潟の自然観察などの利用も盛んである。 以上のことから、優れた海域景観の保護及び適正な利用を図るため、海域公園地区とする。	103.0
22	西表島ユツン	沖縄県八重山郡竹富町 字上原及び字高那地先	西表島ユツン川の河口に位置し、後背にマングローブ林、海浜及び干潟からなる多様な自然環境が形成されており、特有の海域景観を呈している。 また、マングローブ湿地固有の多様な底生生物が豊富に生息しており、イリオモテヤマネコなどの野生生物の餌資源の供給という観点でも重要な区域である。 以上のことから、優れた海域景観の保護及び適正な利用を図るため、海域公園地区とする。	87.2

23	外離島	沖縄県八重山郡竹富町 字西表地先	西表島西部の離島である外離島の沖合に至る海域で、枝状ミドリイシ類が優占する高被度のサンゴ群集が広がり、優れたサンゴ礁景観を呈している。 また、海水の透明度が高く、ダイビングスポットとしても利用されている。 以上のことから優れた海域景観の保護及び適正な利用を図るため、海域公園地区とする。	391.0
----	-----	---------------------	--	-------

ウ 関連事項

(ア) 採取等規制植物

採取又は損傷を規制する植物を次のとおりとする。

(表 11：採取等規制植物表)

科 名	種 名
マツバラン	マツバラン
ヒカゲノカズラ	ボウカズラ、ヒメヨウラクヒバ
イワヒバ	コケカタヒバ、イヌカタヒバ、イワヒバ
ハナヤスリ	コブラン
カニクサ	カンザシワラビ
コケシノブ	サキシマホラゴケ、ソテツホラゴケ、オオアオホラゴケ、マツバコケシダ、ヒメホラゴケモドキ、ヒメホラゴケ、ウチワゴケ、マメゴケシダ、ゼニゴケシダ、オオカンシノブホラゴケ
イノモトソウ	ミミモチシダ (コガネシダ)、トラノオホングウシダ、ヤエヤマホングウシダ、ウスバオオイシカグマ、オオアマクサシダ、ヒメホラシノブ
キジノオシダ	リュウキュウキジノオ
ヘゴ	クサマルハチ、ヒカゲヘゴ (モリヘゴ)、オニヘゴ (クロヘゴ)、ヘゴ
オシダ	オオヘツカシダ、ナタギリシダ、コミダケシダ、キレハキノモリシダ、オオコクモウクジャク、タイワンノコギリシダ (シマノコギリシダ、オオミミガタシダ)、ヤエヤマトラノオ、タイワンハシゴシダ (タイワンハリガネシダ)
チョウセンシダ	マキノシダ
ウラボシ	リュウキュウミツデウラボシ、ヒメウラボシ、コウラボシ、イワヤナギシダ、ミツデヘラシダ、タイワンアオネカズラ、シマムカデシダ (カナブスシダ)
シシラン	ヒメシシラン

デンジソウ	ナンゴクデンジソウ
ヤブレガサウラボシ	ヤブレガサウラボシ
イラクサ	ランダイミズ
ヤドリギ	ニンドゥバヤドリギ
ツチトリモチ	リュウキウツチトリモチ、キイレツチトリモチ
ウマノスズクサ	エクボカンアオイ (エクボサイシン)、ヤエヤマカンアオイ、モノドラカンアオイ
ヤッコソウ	ヤッコソウ
モウセンゴケ	コモウセンゴケ
ベンケイソウ	ハママンネングサ
ユキノシタ	ヤエヤマヒメウツギ
バラ	テンノウメ (イソザンショウ)
マメ	ヒルギカズラ、モダマ、イソフジ
スミレ	ヤエヤマスミレ
シュウカイドウ	コウトウシュウカイドウ、マルヤマシュウカイドウ
ミソハギ	ミズガンピ
ノボタン	ヤエヤマノボタン
イワウメ	シマイワカガミ (シマイワウチワ)
イチヤクソウ	ギンリョウソウ
ツツジ	サキシマツツジ、セイシカ (アマミセイシカを含む。)、タイワンヤマツツジ
サクラソウ	リュウキウコザクラ、シマギンレイソウ
イソマツ	タイワンハマサジ (トウハマサジ)、イソマツ
リンドウ	シマセンブリ、ヒメシロアサザ、シマアケボノソウ
キョウチクトウ	ゴムカズラ

アカネ	イリオモテソウ、リュウキュウイナモリ
ヒルガオ	アサガオカラクサ
ムラサキ	モンパノキ
クマツヅラ	イリオモテムラサキ、オオニンジンボク、ヤエヤマハマゴウ
シソ	ヒメキランソウ
キツネノマゴ	セイタカスズムシソウ
イワタバコ	ヤエヤマイワタバコ、マツムラソウ
タヌキモ	ミミカキグサ、ミカワタヌキモ
ハマジンチョウ	ハマジンチョウ (モクベンケイ)
キク	テリハノギク、モクビヤクコウ、コケタンポポ
ユリ	ナンゴククサスギカズラ、コシヨウジョウバカマ (ヒメシヨウジョウバカマ)、テッポウユリ、タイワンホトトギス
ヒガンバナ	キンバイザサ
ヒナノシヤクジョウ	シロシヤクジョウ、ルリシヤクジョウ
イネ	ヒナヨシ、イリオモテガヤ
シヨウガ	イリオモテクマタケラン
ラン	キバナシユスラン、コウシユシユスラン、タネガシマムヨウラン、ナリヤラン、マメヅタラン (マメラン)、クスクスラン、シコウラン、タマザキエビネ、レンギョウエビネ (スズフリエビネ)、ツルラン (カラン)、オナガエビネ、トクサラン、バイケイラン、ナギラン、ヒメヤツシロラン、ユウレイラン、ジョウロラン、タシロラン、オオオサラン (ホザキオサラン)、リュウキュウセッコク、フシナシオサラン、タカツルラン (ツルツチアケビ)、カシノキラン、ハルザキヤツシロラン、コンジキヤガラ、トサカメオトラン、ツユクサシユスラン、カゴメラン、シマシユスラン、キンギンソウ、ナンバンキンギンソウ、オキナワムヨウラン、サキシマスケロラン、ユウコクラン、クロムヨウラン (ムラサキムヨウラン)、チケイラン、ヒメフタバラン、ナンバンカモメ

	ラン、ムラサキチュウガエリ（イリオモテヒメラン）、ホザキヒメラン、ニラバラン、ヨウラクラン、クスクス ヨウラクラン、オオギミラン、ヒメカクラン、カクラン（カクチヨウラン）、クニガミトンボソウ、タイント ンボソウ（イリオモテトンボソウ）、コウトウシラン、イリオモテラン（ニュウメンラン）、イリオモテムヨウ ラン、ハガクレナガミラン、アコウネツタイラン、カゲロウラン、イシガキキヌラン、キヌラン（ホソバラン）、 ヤンバルキヌラン
--	---

(イ) 捕獲等規制動物

捕獲し若しくは殺傷又は当該動物の卵の採取若しくは損傷を規制する動物を次のとおりとする。

(表 12：捕獲等規制動物表)

科 名	種 名
ウミガメ	アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ

(ウ) 乗入れ規制区域

車馬若しくは動力船を使用し、又は航空機を着陸させることを規制する区域を次のとおりする。

(表 13：乗入れ規制区域表)

名 称	区 域	地種区分	区域の概要	面積 (ha)
浦内川流域	沖縄八重山郡竹富町 軍艦岩から浦内橋に至る浦内 川の一部 (上記の区域のうち、道路、広 場、田、畑、牧場及び宅地の区域 を除く。)	第 1 種 特 別 地 域	当該河川は、西表島中央部に源を発し、同島北西部に 開口する河川であり、河口から延長 13,100m が 2 級河 川に指定されている。下流部から中流部にかけての河 岸にはオヒルギ、ヤエヤマヒルギ、メヒルギを主体とす るマングローブ林が発達し、上流部には亜熱帯性照葉 樹林が河川を覆うように繁茂している。マングローブ 植物の複雑な形をした呼吸根は多くの魚類、甲殻類に 生活空間を提供しているほか、河川周辺樹林は、小動物 やこれらを捕食するカンムリワシなどの鳥類、イリオ モテヤマネコ、セマルハコガメなどの貴重な野生動物 の主要な生息地ともなっており、レジャー用の動力船 を規制し、良好な風致の維持を図る必要性が高い地域 である。	53

仲間川流域	沖縄県八重山郡竹富町 仲間川上流係留施設から仲間 橋に至る仲間川の一部 (上記の区域のうち、道路、広 場、田、畑、牧場及び宅地の区域 を除く。)	第 1 種 特 別 地 域	当該河川は、西表島中央に位置する御座岳に源を発し、東流して同島南東部に開口する河川であり、本流についてのみ河口の仲間橋より上流 7,450mが2級河川に指定されている。河口部から中流部にかけての河岸にはオヒルギ、ヤエヤマヒルギを主体とする我が国最大規模のマングローブ林が発達し、上流部には亜熱帯性照葉樹林が河川を覆うように繁茂している。マングローブ植物の複雑な形をした呼吸根は多くの魚類、甲殻類に生活空間を提供しているほか、河川周辺樹林は、小動物やこれらを捕食するカンムリワシなどの鳥類、イリオモテヤママネコ、セマルハコガメなどの貴重な野生動物の主要な生息地ともなっており、レジャー用の動力船を規制し、良好な風致の維持を図る必要性が高い地域である。	80
-------	--	------------------	---	----

(エ) 捕獲等規制動植物及び区域

海域公園地区において、捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷を規制する動植物及びその区域を次のとおりとする。

(表 14：捕獲等規制動植物及び区域表)

名 称	区 域	地区の概要	面 積 (ha)	捕獲等規制動植物
竹富島 タキド ウング チ ・石西 礁湖北 礁・ヨ ナラ水 道	沖縄県八重山郡竹 富町 字小浜及び字竹 富地先並びに字 古見地先海面の 一部	竹富島北側から小浜島北側沖合に続くリーフ周辺一帯の海域である。礁斜面には枝状・卓状ミドリイシ類が主体の高被度のサンゴ群集が連続して広がり、混成景観が美しい。スギノキミドリイシ、クロマツミドリイシ、コエダミドリイシを主体とする枝状サンゴと、ハナバチミドリイシ、クシハダミドリイシを主体とする卓上サンゴが混成する。やや深場ではユビエダサンゴが群生する。平成 10 年に発生した大規模白化現象により、当該海域のサンゴ群集は壊滅的なダメージを受けたものの、現在では良好な状態まで回復しており、石西礁湖のサンゴ再生産への貢献度は高い。魚類相としては、多様性に富み、魚影も濃く、キンギョクダイ科、スズメダイ科などの出現が多い。	3,281.9	別表のとおり
竹富島 シモビ シ	沖縄県八重山郡竹 富町 字竹富地先	竹富島南西約 3 km 沖の大型離礁であり、離礁の北側一帯は砂礫の堆積した浅い海域となり、南側一帯はサンゴ岩盤が張り出し、その礁縁部は「縁溝－縁脚系」がよく発達して複雑な地形を形成している。礁縁部は、枝状ミドリイシ類と卓状ミドリイシ類が混成し、その被度は極めて高く、優れたサンゴ礁景観が形成されている。	221.0	別表のとおり

黒島ウ ラビ シ・キ ヤング チ・ なかもと 仲本海 岸	沖縄県八重山郡竹 富町 字黒島地先	黒島周囲沖合一帯の海域である。北東約2 km 沖合にある。大型離礁であるウラビシや、黒島東岸約500mほど沖合にある裾礁のキヤングチは、かつてはサンゴ類の被度が非常に高く、過去の白化現象等により壊滅的な状況に陥ったものの、潮流の通りもよく、現在は回復傾向を示しており、石西礁湖のサンゴ再生産への貢献度が高い海域と期待される。 また、西側の仲本海岸沖合はサンゴ礁の海底地形と動植物の観察適地として、ダイビングや海水浴の利用も盛んである。	2403.2	別表のとおり
新城島 マイビ シ	沖縄県八重山郡竹 富町 字新城地先	新城島上地北西1 km 沖に位置する離礁群周辺の海域であり、南西端の比較的大きな離礁と細かな多数の離礁を含む。 また、クシハダミドリイシを主体とする卓状ミドリイシ類が優占する良好なサンゴ礁景観が形成されている。	179.7	別表のとおり
平久保	沖縄県石垣市 字平久保地先	本地区は平久保崎西側から平久保集落沖合に到る海域であり、裾礁が発達している。礁原から礁斜面にかけては、枝状ミドリイシ類を主体とした高被度のサンゴ群集が形成されており、海水の透明度も高い。短期的には被度の盛衰が見られるものの、長期的には安定しており、周辺海域へのサンゴ幼生の供給源になっているとも考えられることから、保全の必要性が高い海域である。魚類相としては、チョウチョウオ科、スズメダイ科、ベラ科などのサンゴ礁魚類を主体とした構成で、特にスズメダイ科の出現が多い。 また、陸域からの人為的影響が比較的少なく、外洋に面して潮通しも良いため、石垣島周囲のサンゴ礁の中でも良好なサンゴ群集が保たれている場所である。	176.9	別表のとおり

かひら 川平 いしざき 石崎	沖縄県石垣市 宇川平地先	川平半島の北東岸に位置する本地区では「平成 16 年度環境省広域モニタリング調査」において、被度が 60～75%の非常に良好なサンゴ群集が礁池から礁縁にかけて確認されている。特に、枝状・卓状ミドリイシ、ユビエダハマサンゴ等が優占している。 また、ナンヨウマンタが頻繁に目撃される場所として有名なダイビングスポットが存在する他、周辺にはウミガメの産卵場が存在している。	274. 8	別表のとおり
よなほら 米原	沖縄県石垣市 宇川平及び字桴 海の各地先	本地区では、礁池内の浅い場所にサンゴ群集が高い被度で広がっている。ミドリイシ類、シコロサンゴ類、ハマサンゴ類等の多種混成型のサンゴ礁生態系が見られ、魚種も豊富である。スノーケル等による自然観察が手軽に楽しめるスポットとして公園利用上重要な場所となっている。	129. 7	別表のとおり
白保	沖縄県石垣市 宇白保地先	石垣島南東岸の宮良湾から東岸の通路川河口までの南北約 12km、最大幅約 1km に及ぶ裾礁のうち、本地区は白保集落の北側に位置する海域である。礁池内ではアオサンゴやユビエダハマサンゴが優占する他、一部ではコモサンゴ類が優勢である。特にこの地区に特徴的なアオサンゴの大群落は、北半球では最大規模のものとされている。 また、ハマサンゴ類やアオサンゴの巨大な群体によるマイクロアトールも多数見られ、本地区の海中景観を特徴づけている。近年はグラスボート等による観光利用も増加しており、観光資源としても重要な地区である。魚類相としては、チョウチョウウオ科、スズメダイ科、ベラ科などのサンゴ礁魚類を主体とした構成で、特にスズ	311. 6	別表のとおり

		メダイ科の出現が多い。			
平野	沖縄県石垣市 字平久保地先	平久保崎北側から浦崎東側沖合に至る海域であり、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜が折り合って優れた景観を形成し、景勝地として利用の盛んな平久保崎灯台からの眺望対象となっている。 以上のことから、優れた海上景観の保護を図る必要がある地区である。	938.0		別表のとおり
あかいし 明石	沖縄県石垣市 字伊原間地先	安良崎東側からトムル崎東側沖合に至る海域であり、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜が折り合って優れた景観を形成し、久宇良岳中腹にありパラグライダー発出場として利用される展望地からの眺望対象となっている。	861.6		別表のとおり
たまとりざき 玉取崎	沖縄県石垣市 字伊原間地先	伊原間放牧場東側から大野崎東側沖合に至る海域であり、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜及び遠望にある牧草地や照葉樹林の山地部が一体となって折り合い、優れた景観を形成している。 また、景勝地として利用が盛んな玉取崎展望台からの眺望対象となっている。	903.0		別表のとおり
よなほら 米原ブ カピー	沖縄県石垣市 字川平及び字桴 海の各地先	米原海岸の1.5km 沖にある環礁周辺の海域である。礁原には卓状ミドリイシ類を、礁斜面には枝状ミドリイシ類や塊状ハマサンゴ類を主体とした高被度のサンゴ群集が形成されている。陸域からの人為的影響が比較的少なく、長期的に安定した良好なサンゴ群集が保たれており、ダイビングスポットとしても盛んに利用されている。	147.4		別表のとおり

うがみざき 御神崎	沖縄県石垣市 宇崎枝地先	屋良部半島御神崎西側から屋良部崎西側沖合に至る海域であり、 発達したリーフに複雑で多様な海底地形が広がり、ダイビングスポ ットとしても盛んに利用されている。 また、礁斜面には卓状ミドリイシ類を主体とした高被度のサンゴ 群集が形成されている。	291.9	別表のとおり
鳩間島 バス・宇 那利崎	沖縄県八重山郡竹 富町 宇上原地先海面 の一部	西表島の宇那利崎から浦内川河口に至る海域は、礁池内はハマサ シ類、礁斜面は枝状ミドリイシ類や卓状ミドリイシ類を主体とし た高被度のサンゴ群集が形成され、リーフと色鮮やかな礁池及び隣 接する美しい自然海浜が一体となった優れた海域景観を呈してい る。 また、浦内川河口は後背にマングローブ林、海浜及び干潟からな る多様な自然環境が形成され特有の景観を呈している。さらにダイ ビングスポットとしても利用が盛んである。鳩間島と西表島の間に 堆積したサンゴ砂礫の干出域周辺の海域である。枝状ミドリイシが 優占する高被度のサンゴ群集が広がり、海水の透明度が高い。 また、周辺海域の青さとバラスの白さのコントラストが優れた景 観を形成し、スノーケリング等マリニレジャーの利用も盛んであ る。	1,419.1	別表のとおり
西表島 後良川 河口	沖縄県八重山郡竹 富町 宇古見地先	西表島後良川河口に位置し、後背にマングローブ林、海浜及び干 潟からなる多様な自然環境が見られる。ミナミコメツキガニ等の多 様な底生生物が豊富に生息するとともに、イリオモテヤマネコの生 息も確認され、野生生物の生息及び生育地としても重要である。	369.0	別表のとおり

竹富島 南沖礁	沖縄県八重山郡竹 富町 字竹富地先	竹富島南約2 km 沖の離礁が点在する海域である。枝状ミドリイ シ類が優占する礁池や卓状ミドリイシ類が優占する礁池が混在し、 その被度は極めて高く、優れたサンゴ礁景観が形成されている。 また、海水の透明度は高く、ダイビングスポットとしても盛んに 利用されている。	424. 2	別表のとおり
西表島 かのかわなか のせ 瀬 鹿川中 瀬	沖縄県八重山郡竹 富町 字崎山地先	西表島鹿川湾の裾礁及び離礁を含む海域であり、高い被度で多様 なサンゴ類が混成している。魚類相としては、タカサゴやイスズミ などの大きな群れのほか、ナンヨウマンタの回遊も見られる。 また、ダイビングスポットとしても盛んに利用されている。	380. 6	別表のとおり
西表島 仲間崎	沖縄県八重山郡竹 富町 字南風見仲地先	西表島仲間崎の地先に位置し、広大で水平的な干潟景観を有する 自然海浜となっており、沿岸部に沿ってマングローブ林が成立し、 干出域にはミナミコメツキガニを始めとする多様な生物が見られ る。	193. 6	別表のとおり
波照間 島又一 崎沖	沖縄県八重山郡竹 富町 字波照間地先	波照間島大泊浜北側からペムチ浜東側沖合に至る海域である。風 衝植生が成立し、地形の変化に富む連続した海食海岸に隣接してお り、海域と一帯となって優れた景観が形成されているとともに、当 該海域の北側においては、対岸の西表島の雄大な景色を眺望でき る。	1, 721. 7	別表のとおり

波照間 島浜崎 沖	沖縄県八重山郡竹 富町 字波照間地先	ニシ浜北側からペー浜西側沖合に至る海域である。仲御神島が遠望でき、発達したリーフ、色彩が鮮やかな礁池及び隣接する美しい自然海浜が折り合って優れた景観が形成されている。 また、高い被度で多様なサンゴ類が混成し、良好なサンゴ礁景観が形成され、ダイビングや海水浴の利用も盛んである。	712.9	別表のとおり
西表島 大見謝	沖縄県八重山郡竹 富町 字上原地先	西表島大見謝川の河口に位置し、後背にマングローブ林、海浜及び干潟からなる多様な自然環境が形成されており、特有の海域景観を呈している。 また、マングローブ湿地固有の多様な底生生物が豊富に生息しており、イリオモテヤマネコなどの野生生物の餌資源の供給という観点でも重要な区域である。さらに、県道から干潟に至る歩道が整備されており、マングローブ林や干潟の自然観察などの利用も盛んである。	103.0	別表のとおり
西表島 ユツン	沖縄県八重山郡竹 富町 字上原及び字高 那地先	西表島ユツン川の河口に位置し、後背にマングローブ林、海浜及び干潟からなる多様な自然環境が形成されており、特有の海域景観を呈している。 また、マングローブ湿地固有の多様な底生生物が豊富に生息しており、イリオモテヤマネコなどの野生生物の餌資源の供給という観点でも重要な区域である。	87.2	別表のとおり

外離島	沖縄県八重山郡竹 富町 字西表地先	西表島西部の離島である外離島の沖合に至る海域で、枝状ミドリ イシ類が優占する高被度のサンゴ群集が広がり、優れたサンゴ礁景 観を呈している。また、海水の透明度が高く、ダイビングスポット としても利用されている。	391.0	別表のとおり
-----	-------------------------	---	-------	--------

(表 14 別表：捕獲等規制動植物表)

<i>Millepora</i> 属 (アナサンゴモドキ属) 全種、<i>Tubipora</i> 属 (クダサンゴ属) 全種、<i>Clavulariidae</i> (ウミジタ科) 全種、<i>Xeniidae</i> (ウミアザミ科) 全種、<i>Alcyoniidae</i> (ウミトサカ科) 全種、<i>Nephtheidae</i> (チヂミトサカ科) 全種、<i>Nidaliidae</i> (タイマツトサカ科) 全種、<i>Heliopora</i> 属 (アオサンゴ属) 全種、<i>Subergorgiidae</i> (ヒラヤギ科) 全種、<i>Melithaeidae</i> (イソバナ科) 全種、<i>Parisiidae</i> (トクサモドキ科) 全種、<i>Keroeidae</i> (アイノヤギ科) 全種、<i>Paramuriceidae</i> (フタヤギ科) 全種、<i>Plexauridae</i> (ホソヤギ科) 全種、<i>Ellisellidae</i> (ムチヤギ科) 全種、<i>Primnoidae</i> (オオキンヤギ科) 全種、<i>Isididae</i> (トクササンゴ科) 全種、<i>Veretillidae</i> (ウミサボテン科) 全種、<i>Virgulariidae</i> (ヤナギウミエラ科) 全種、<i>Pennatulidae</i> (ウミエラ科) 全種、<i>Pteroeidae</i> (トゲウミエラ科) 全種、<i>Discosomatidae</i> (イソギンチャクモドキ科) 全種、<i>Ricordeidae</i> (コワイソギンチャクモドキ科) 全種、<i>Edwardsiidae</i> (ムシモドキギンチャク科) 全種、<i>Boloceroiidae</i> (オヨギイソギンチャク科) 全種、<i>Aliciidae</i> (カザリイソギンチャク科) 全種、<i>Thalassianthidae</i> (ケイトウイソギンチャク科) 全種、<i>Actinodendronidae</i> (ハナブサイソギンチャク科) 全種、<i>Phymanthidae</i> (ニチリンイソギンチャク科) 全種、<i>Stichodactylidae</i> (ハタゴイソギンチャク科) 全種、<i>Isophellidae</i> (イソフエリア科) 全種、<i>Stylocoeniella</i> 属 (ムカシサンゴ属) 全種、<i>Palauastrea</i> 属 (パラオサンゴ属) 全種、<i>Pocillopora</i> 属 (ハナヤサイサンゴ属) 全種、<i>Seriatopora</i> 属 (トゲサンゴ属) 全種、<i>Stylophora</i> 属 (シヨウガサンゴ属) 全種、<i>Acropora</i> 属 (ミドリイシ属) 全種、<i>Anacropora</i> 属 (トゲミドリイシ属) 全種、<i>Astreopora</i> 属 (アナサンゴ属) 全種、<i>Montipora</i> 属 (コモンサンゴ属) 全種、<i>Alveopora</i> 属 (アワサンゴ属) 全種、<i>Goniopora</i> 属 (ハナガササンゴ属) 全種、<i>Porites</i> 属 (ハマサンゴ属) 全種、<i>Coscinaraea</i> 属 (ヤスリサンゴ属) 全種、<i>Psammodora</i> 属 (アミメサンゴ属) 全種、<i>Pseudosiderastrea</i> 属 (ニセヤスリサンゴ属) 全種、<i>Coeloseris</i> 属 (ヨロンキクメイシ属) 全種、<i>Leptoseris</i> 属 (センベイサンゴ属) 全種、<i>Pachyseris</i> 属 (リュウモンサンゴ属) 全種、<i>Pavona</i> 属 (シコロサンゴ属) 全種、<i>Gardineroseris</i> 属 (ヒラフキサンゴ属) 全種、<i>Ctenactis</i> 属 (トゲクサビライシ属) 全種、<i>Cycloseris</i> 属 (マンジュウイシ属) 全種、<i>Diaseris</i> 属 (フレクサビライシ属) 全種、<i>Fungia</i> 属 (クサビライシ属) 全種、<i>Halomitra</i> 属 (カブトサンゴ属) 全種、<i>Heliofungia</i> 属 (パラオクサビライシ属) 全種、<i>Herpolitha</i> 属 (キュウリイシ属) 全種、<i>Lithophyllon</i> 属 (カワラサンゴ属) 全種、<i>Podabacia</i> 属 (ヤエヤマカラサンゴ属) 全種、<i>Polyphyllia</i> 属 (イシナマコ属) 全種、<i>Sandalolitha</i> 属 (ヘルメットイシ属) 全種、<i>Zoopilus</i> 属 (アミガササンゴ属) 全種、<i>Acrhelia</i> 属 (エダアザミサンゴ属) 全種、<i>Galaxea</i> 属 (アザミサンゴ属) 全種、<i>Echinophyllia</i> 属 (キッカサンゴ属) 全種、<i>Mycedium</i> 属 (ウスカミサンゴ属) 全種、<i>Oxypora</i> 属 (アナキッカサンゴ属) 全種、<i>Pectinia</i> 属 (スジウミバラ属) 全種、<i>Physophyllia</i> 属 (ウミバラ属) 全種、<i>Acanthastrea</i> 属 (オオトゲキクメイシ属) 全種、<i>Australomussa</i> 属 (ヒラサンゴ属) 全種、<i>Blastomussa</i> 属 (タバサンゴ属) 全種、<i>Cynarina</i> 属 (コハナガタサンゴ属) 全種、<i>Lobophyllia</i> 属 (ハナガタサンゴ属) 全種、<i>Scolymia</i> 属 (アザミハナガタサンゴ属) 全種、<i>Symphyllia</i>

属 (ダイノウサンゴ属) 全種、*Hydnophora* 属 (イボサンゴ属) 全種、*Merulina* 属 (サザナミサンゴ属) 全種、*Scapophyllia* 属 (オオサザナミサンゴ属) 全種、*Barabattoia* 属 (バラバットサンゴ属) 全種、*Caulastrea* 属 (タバネサンゴ属) 全種、*Cyphastrea* 属 (トゲキクメイシ属) 全種、*Diplastrea* 属 (ダイオウサンゴ属) 全種、*Favia* 属 (キクメイシ属) 全種、*Favites* 属 (カメノコキクメイシ属) 全種、*Echinopora* 属 (リュウキウキウサンゴ属) 全種、*Goniastrea* 属 (コカメノコキクメイシ属) 全種、*Leptastrea* 属 (ルリサンゴ属) 全種、*Leptoria* 属 (ナガレサンゴ属) 全種、*Montastrea* 属 (マルキクメイシ属) 全種、*Oulastrea* 属 (キクメイシモドキ属) 全種、*Oulophyllia* 属 (オオナガレサンゴ属) 全種、*Platygyra* 属 (ノウサンゴ属) 全種、*Plesiastrea* 属 (コマルキクメイシ属) 全種、*Trachyphyllia* 属 (ヒュサンゴ属) 全種、*Euphyllia* 属 (ナガレハナサンゴ属) 全種、*Physogyra* 属 (オオハナサンゴ属) 全種、*Pterogyra* 属 (ミズタマサンゴ属) 全種、*Turbinaria* 属 (スリバチサンゴ属) 全種、*Dendrophylliidae* (キササンゴ科) 全種、*Zoanthidae* (スナギンチャク科) 全種、*Antipathidae* (ウミカラマツ科) 全種、*Cerianthidae* (ハナギンチャク科) 全種、*Ovula ovum* (ウミウサギガイ)、*Cypraea tigris* (ホシダカラガイ)、*Cypraea mauritiana* (ハチジョウダカラガイ)、*Cymatium hepaticum* (ジュセイヤ)、*Cassia cornutus* (トウカムリガイ)、*Cypraea rufa* (マンボウガイ)、*Mitra mitra* (チョウセンフデガイ)、*Mitra papalis* (オニキバフデ)、*Oliva miniacea* (ジュウドウマクラガイ)、*Harpa major* (シヨクコウラ)、*Conus textile* (タガヤサンミナシガイ)、*Conus litteratus* (アンボンクログメガイ)、*Oxymuris maculata* (リュウキウタケガイ)、*Aplysia dactylomela* (ジャノメアフラシ)、*Dolabella auricularia* (タツナミガイ)、*Hexabranhus lacera* (ミカドウミウシ)、*Pteraeolidia ianthina* (ムカデミノウミウシ)、*Atrina vexillum* (クロタイラギ)、*Corculum cardissa* (リュウキウアオイガイ)、*Stenopus hispidus* (オトヒメエビ)、*Clibanarius virescens* (イソヨコバサミ)、*Calcinus laevimanus* (スベスベサンゴヤドリ)、*Dardanus megistos* (コモンヤドリ)、*Calappa hepatica* (ソデカラッパ)、*Calappa philargius* (メガネカラッパ)、*Comanthina nobilis* (ハナウミシダ)、*Tropiometra afra macrodiscus* (オオウミシダ)、*Linckia laevigata* (アオヒトデ)、*Nardoa tuberculata* (イボヒトデ)、*Culcita novaeguineae* (マンジュウヒトデ)、*Protoreaster nodosus* (コブヒトデ)、*Ophiocoma scolopendrina* (ウデフリクモヒトデ)、*Ophiomastix mixta* (アカクモヒトデ)、*Diadema setosum* (ガンガゼ)、*Echinothrix calamaris* (トックリガンガゼモドキ)、*Toxopneustes pileolus* (ラッパウニ)、*Heterocentrotus mammillatus* (パイプウニ)、*Synapta maculata* (オオイカリナマコ)、*Manta birostris* (オニイトマキエイ)、*Histrio histrio* (ハナオコゼ)、*Aulostomus chinensis* (ヘラヤガラ)、*Aeoliscus strigatus* (ヘコアユ)、*Corythoichthys haematopterus* (イシヨウジ)、*Corythoichthys schultzei* (クチナガイシヨウジ)、*Hippocampus histrix* (イバラタツ)、*Hippocampus coronatus* (タツノオトシゴ)、*Pterois volitans* (ハナミノカサゴ)、*Pterois antennata* (ネッタイミノカサゴ)、*Dendrochirus zebra* (キリンミノ)、*Cheilodipterus quinquelineatus* (ヤライイシモチ)、*Apogon semilineatus* (ネンブツダイ)、*Apogon nigrofasciatus* (ミナミフストスジイシモチ)、*Apogon properuptus* (キンセンイシモチ)、*Pempheris* 属の一種 (リュウ

キュウハタンボ)、*Pempheris schwenkii* (ミナミハタンボ)、*Heniochus varius* (ツノハタタテダイ)、*Heniochus chrysostomus* (ミナミハタタテダイ)、*Heniochus monoceros* (オニハタタテダイ)、*Heniochus singularis* (シマハタタテダイ)、*Heniochus acuminatus* (ハタタテダイ)、*Heniochus diphreutes* (ムレハタタテダイ)、*Chelmon rostratus* (ハシナガチヨウチヨウチヨウチ)、*Forcipiger longirostris* (オオフエヤッコダイ)、*Forcipiger flavissimus* (フエヤッコダイ)、*Hemitaenichthys polylepis* (カスミチヨウチヨウチヨウチ)、*Coradion chrysozonus* (キスジゲンクロクダイ)、*Coradion altivelis* (タキゲンクロクダイ)、*Chaetodon oligacanthus* (テンツキチヨウチヨウチ)、*Chaetodon trifascialis* (ヤリカタギ)、*Chaetodon plebeius* (スミツキトノサマダイ)、*Chaetodon auriga* (トゲチヨウチヨウチ)、*Chaetodon semeion* (レモンチヨウチヨウチ)、*Chaetodon ephippium* (セグロチヨウチヨウチ)、*Chaetodon bennetti* (ウミジキチヨウチヨウチ)、*Chaetodon unimaculatus* (イッテンチヨウチヨウチ)、*Chaetodon speculum* (トノサマダイ)、*Chaetodon baronessa* (ミカドチヨウチヨウチ)、*Roa modesta* (ゲンクロクダイ)、*Chaetodon reticulatus* (ハクテンカタギ)、*Chaetodon lunula* (チヨウハン)、*Chaetodon punctatofasciatus* (シチセンチヨウチヨウチ)、*Chaetodon argentatus* (カガミチヨウチヨウチ)、*Chaetodon vagabundus* (フウライチヨウチヨウチ)、*Chaetodon lunulatus* (ミスジチヨウチヨウチ)、*Chaetodon lineolatus* (ニセフウライチヨウチヨウチ)、*Chaetodon oxycephalus* (ヒメフウライチヨウチヨウチ)、*Chaetodon selene* (テングチヨウチヨウチ)、*Chaetodon octofasciatus* (ヤスジチヨウチヨウチ)、*Chaetodon ornatissimus* (ハナグロチヨウチヨウチ)、*Chaetodon meyeri* (オウギチヨウチヨウチ)、*Chaetodon ulietensis* (スダレチヨウチヨウチ)、*Chaetodon melanotus* (アケボノチヨウチヨウチ)、*Chaetodon rafflesii* (アミチヨウチヨウチ)、*Chaetodon auripes* (チヨウチヨウチ)、*Chaetodon wiebeli* (ツキチヨウチヨウチ)、*Chaetodon adiergastos* (クラカケチヨウチヨウチ)、*Chaetodon kleinii* (ミゾレチヨウチヨウチ)、*Chaetodon xanthurus* (アミメチヨウチヨウチ)、*Chaetodon citrinellus* (ゴマチヨウチヨウチ)、*Chaetodon guentheri* (コクテンカタギ)、*Chaetodon nippon* (シラコダイ)、*Chaetodon interruptus* (インディアンティアドロップ)、*Coradion melanopus* (トウアーアイドコーラルフイッシュ)、*Pomacanthus sexstriatus* (ロクセンヤッコ)、*Pomacanthus xanthometopon* (アデヤッコ)、*Pomacanthus semicirculatus* (サザナミヤッコ)、*Pomacanthus annularis* (ワヌケヤッコ)、*Pomacanthus imperator* (タテジマキンチャクダイ)、*Chaetodontoplus mesoleucus* (チリメンヤッコ)、*Chaetodontoplus septentrionalis* (キンチャクダイ)、*Chaetodontoplus melanostoma* (キヘリキンチャクダイ)、*Chaetodontoplus chrysocephalus* (アカネキンチャクダイ)、*Apolemichthys trimaculatus* (シテンヤッコ)、*Pygoplites diacanthus* (ニシキヤッコ)、*Paracentropyge venusta* (スミレヤッコ)、*Paracentropyge multifasciata* (シマヤッコ)、*Centropyge bispinosa* (ルリヤッコ)、*Centropyge shepardi* (ダイダイヤッコ)、*Centropyge heraldi* (ヘラルドコガネヤッコ)、*Centropyge flavissima* (コガネヤッコ)、*Centropyge bicolor* (ソメワケヤッコ)、*Centropyge vrolikii* (ナメラヤッコ)、*Centropyge tibicen* (アブラヤッコ)、*Centropyge fisheri* (チャイロヤッコ)、*Centropyge*

ferrugata (アカハラヤッコ)、*Genicanthus melanospilos* (ヤイトヤッコ)、*Genicanthus lamarck* (タテジマヤッコ)、*Genicanthus watanabei* (ヒレナガヤッコ)、*Genicanthus semifasciatus* (トサヤッコ)、*Amphiprion sandaracinos* (セジロクマノミ)、*Amphiprion perideraion* (ハナビラクマノミ)、*Amphiprion frenatus* (ハマクマノミ)、*Amphiprion ocellaris* (カクレクマノミ)、*Amphiprion clarkii* (クマノミ)、*Amphiprion polymnus* (トウアカクマノミ)、*Chromis margaritifer* (シコクスズメダイ)、*Chromis analis* (コガネスズメダイ)、*Dascyllus trimaculatus* (ミツボシクロスズメダイ)、*Dascyllus reticulatus* (フタスジリュウキュウスズメダイ)、*Dascyllus aruanus* (ミスジリュウキュウスズメダイ)、*Plectroglyphidodon lacrymatus* (ルリホシスズメダイ)、*Plectroglyphidodon dickii* (イシガキスズメダイ)、*Abudefduf notatus* (イソスズメダイ)、*Chrysiptera rex* (レモンズズメダイ)、*Chrysiptera cyanea* (ルリスズメダイ)、*Chrysiptera glauca* (ネズスズメダイ)、*Amblyglyphidodon curacao* (クラカオスズメダイ)、*Neoglyphidodon melas* (クロスズメダイ)、*Neoglyphidodon nigroris* (ヒレナガスズメダイ)、*Dischistodus prosopotaenia* (ダンダラスズメダイ)、*Pomacentrus philippinus* (フィリピンズズメダイ)、*Pomacentrus chrysurus* (オジロスズメダイ)、*Pomacentrus coelestis* (ソラスズメダイ)、*Pomacentrus alexanderae* (モンツキスズメダイ)、*Pomacentrus* 属の一種 (ミナミイソスズメダイ)、*Pomacentrus moluccensis* (ネッタイスズメダイ)、*Stegastes albifasciatus* (キオビスズメダイ)、*Stegastes nigricans* (クロソラスズメダイ)、*Gomphosus varius* (クギベラ)、*Hemigymnus fasciatus* (シマタレクチベラ)、*Labroides dimidiatus* (ホンソメワケベラ)、*Labroides bicolor* (ソメワケベラ)、*Macropharyngodon meleagris* (ノドグロベラ)、*Coris aygula* (カンムリベラ)、*Coris gaimard* (ツユベラ)、*Hologymnosus annulatus* (ナメラベラ)、*Platax teira* (ツバメウオ)、*Zanclus cornutus* (ツノダシ)、*Zebrasoma veliferum* (ヒレナガハギ)、*Zebrasoma flavescens* (キイロハギ)、*Balistoides conspicillum* (モンガラカワハギ)、*Balistapus undulatus* (クマドリ)、*Rhinecanthus aculeatus* (ムラサメモンガラ)、*Rhinecanthus rectangulus* (タスキモンガラ)、*Rhinecanthus verrucosus* (クラカケモンガラ)、*Paraluteres prionurus* (ノコギリハギ)、*Ostracion cubicum* (ミナミハコフグ)、*Canthigaster valentini* (シマキンチャクフグ) 及び *Arothron nigropunctatus* (コクテンフグ)

◆計 32 科 72 属 179 種

(オ) 普通地域

普通地域の区域は、次のとおりである。

(表 15：普通地域表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)								
沖縄県	石垣市 字伊原間、字大浜、字川平、字崎枝、 字真栄里及び八島町二丁目の各一部	120 <table><tr><td>国</td><td>0</td></tr><tr><td>公</td><td>42</td></tr><tr><td>私</td><td>65</td></tr><tr><td>不明</td><td>13</td></tr></table>	国	0	公	42	私	65	不明	13
	国	0								
公	42									
私	65									
不明	13									
	八重山郡竹富町内 国有林沖縄森林管理署 210 林班の全部 並びに 137 林班、138 林班、161 林班、 172 林班、187 林班、188 林班、193 林 班、197 林班、198 林班、208 林班及び 209 林班の各一部 八重山郡竹富町 字新城の全部並びに字西表、字上原、 字黒島、字小浜、字古見、字高那、字 竹富、字南風見、字南風見仲、字波照 間及び字鳩間の各一部	6, 538 <table><tr><td>国</td><td>513</td></tr><tr><td>公</td><td>1, 247</td></tr><tr><td>私</td><td>4, 319</td></tr><tr><td>不明</td><td>459</td></tr></table>	国	513	公	1, 247	私	4, 319	不明	459
国	513									
公	1, 247									
私	4, 319									
不明	459									
陸 域 合 計		6, 658								
陸域公園区域の地先海面の一部		68, 139								
合 計		74, 797								

エ 面積内訳

地域地区別土地所有別及び市町村別面積は次のとおりとなる。

(表 16：地域地区別土地所有別面積総括表)

(単位：面積 ha, 比率%)

地 域 区 分		特 別 地 域																普 通 地 域 (陸 域)				合 計 (陸 域)				海域公園 地 区	普通地域 (海域)	合 計 (海域)
地 種 区 分		特別保護地区				第 1 種 特 別 地 域				第 2 種特別地域				第 3 種特別地域														
土 地 所 有 別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不			
沖縄県	土地所有別面積	4,624	557	0	0	15,647	652	280	872	2,148	1,453	551	173	2,456	4,150	337	100	513	1,289	4,384	472	25,388	8,101	5,552	1,617			
	地種区分別面積 (比 率)					17,451 (42.9)				4,325 (10.6)				7,043 (17.3)														
	地域地区別面積 (比 率)	5,181 (12.7)				28,819 (70.9)																						
	地域別面積 (比 率)	34,000 (83.6)																6,658 (16.4)				40,658 (100.0)						

※海域は国の所有に属する公有水面であり、県別等に面積を表示することはできないため、西表石垣国立公園全体の数値を示している。

（表 17：地域地区別市町村別面積総括表）

地域地区 市町村名			特別地域					普通 地域 (陸域)	合計 (陸域)	海域公 園地区	普通 地域 (海域)	合計 (海域)
			特 保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小 計					
沖縄県	石垣市		557	744	1,315	4,385	7,001	120	7,121	23ヶ所 15,923	68,139	84,062
	八重山郡	竹富町	4,624	16,707	3,010	2,658	26,999	6,538	33,537			
合 計			5,181	17,451	4,325	7,043	34,000	6,658	40,658			

※海域は国の所有に属する公有水面であり、県別等に面積を表示することはできないため、西表石垣国立公園全体の数値を示している。

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

(表 18:保護施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	自然再生施設	沖縄県石垣市及び八重山郡竹富町地先海面並びにその周辺(石西礁湖)	石西礁湖において、サンゴ礁生態系を保全再生するため、石西礁湖自然再生全体構想に基づき、陸域対策と連携しつつ、サンゴ群集修復事業や必要なモニタリング調査等の自然再生を行う。	平成 17. 7. 12 告示
2	自然再生施設	沖縄県石垣市地先海面及びその周辺(石垣島)	石垣島周辺海域において、サンゴ礁生態系を保全再生するため、石西礁湖自然再生全体構想に基づき、陸域対策と連携しつつ、サンゴ群集修復事業や必要なモニタリング調査等の自然再生を行う。	平成 28. 4. 15 告示
3	自然再生施設	沖縄県八重山郡竹富町地先海面及びその周辺(西表島)	西表島周辺海域において、サンゴ礁生態系を保全再生するため、石西礁湖自然再生全体構想に基づき、陸域対策と連携しつつ、サンゴ群集修復事業や必要なモニタリング調査等の自然再生を行う。	平成 28. 4. 15 告示
4	動物繁殖施設	沖縄県八重山郡竹富町(古見)	博物館展示施設として整備されている西表野生生物保護センターを、イリオモテヤマネコやカンムリワシなど公園内に生息する希少野生生物の野生復帰施設としても位置づけ、機能の強化を図る。	平成 28. 4. 15 告示

イ 利用施設計画

(ア) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 19: 単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	博物展示施設	沖縄県八重山郡竹富町 (浦内川入口) うらうちがわ	西表島西部の利用拠点として博物展示施設を整備する。	昭和 47. 12. 26 告示
2	園 地	沖縄県八重山郡竹富町 (ヒナイ滝)	ヒナイ川周辺における快適かつ安全な利用を図るため、必要な園地を整備する。	昭和 47. 12. 26 告示
3	博物展示施設	沖縄県八重山郡竹富町 (古見) こみ	現在整備されている西表野生生物保護センターを西表島東部の博物展示施設として位置付ける。	平成 15. 3. 31 告示
4	園 地	沖縄県八重山郡竹富町 (西舟付) にしふなつき	仲間川のマングローブ林探勝のための展望園地として整備する。	昭和 55. 12. 17 告示
5	園 地	沖縄県八重山郡竹富町 (大富入口) おおとみ	亜熱帯林観察のための園地として整備する。	昭和 55. 12. 17 告示
6	園 地	沖縄県八重山郡竹富町 (小浜島)	小浜島での自然探勝のための園地として整備する。	昭和 47. 12. 26 告示
7	園 地	沖縄県八重山郡竹富町 (竹富島)	竹富島での自然探勝のための園地として整備する。	平成 15. 3. 31 告示
8	博物展示施設	沖縄県八重山郡竹富町 (竹富島)	竹富島周辺の自然環境及び文化の紹介を主体としたデジタルセンターを整備する。	平成 15. 3. 31 告示
9	園 地	沖縄県八重山郡竹富町 (黒島)	仲本海岸等における黒島での自然探勝のための園地として整備する。	昭和 47. 12. 26 告示

10	博物展示施設	沖縄県八重山郡竹富町（黒島）	黒島周辺の自然環境及び文化の紹介を主体としたデジタルセンターを整備する。	昭和 52. 9. 8 告示
11	博物展示施設	沖縄県石垣市（石垣島）	石西礁湖、西表島及び石垣島周辺のサンゴ礁についての学習及び国立公園の総合案内のための博物展示施設として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
12	園地	沖縄県石垣市（明石） あかいし	平久保半島東部からの展望園地として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
13	園地	沖縄県石垣市（玉取崎） たまとりさき	平久保半島及び白保へ続く石垣島東側海岸を望む展望園地として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
15	園地	沖縄県石垣市（川平） かびら	川平湾の展望利用及び周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
16	野営場	沖縄県石垣市（米原） よねはら	米原海岸の自然環境を活かした探勝利用等のための野営場として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
17	園地	沖縄県石垣市（米原）	米原海岸及びヤエヤマヤシ群落周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
18	園地	沖縄県石垣市（御神崎） うがみさき	御神崎からの展望園地として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
19	園地	沖縄県石垣市（名蔵アンパル） なぐら	名蔵アンパルの干潟、マングローブ林等の自然探勝のための園地として整備する。	平成 19. 8. 1 告示

20	園地	沖縄県石垣市（白保）	白保海岸での自然探勝のための園地として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
21	園地	沖縄県八重山郡竹富町（鳩間）	鳩間バラス周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 24. 3. 27 告示
22	園地	沖縄県八重山郡竹富町（ニシ浜）	ニシ浜からペー浜にかけて自然海岸周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 24. 3. 27 告示
23	園地	沖縄県八重山郡竹富町（高那崎）	高那崎周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 24. 3. 27 告示
24	園地	沖縄県石垣市（平久保）	平久保川のサガリバナ群落周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
25	園地	沖縄県石垣市（久宇良）	嘉良川のサガリバナ群落周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
26	園地	沖縄県石垣市（吹通川）	吹通川のマングローブ林周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
27	園地	沖縄県八重山郡竹富町（住吉）	宇那利崎からの海域景観の展望園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
28	園地	沖縄県八重山郡竹富町（宇多良）	ウタラ炭鉱跡周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
29	園地	沖縄県八重山郡竹富町（浦内）	浦内川周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
30	園地	沖縄県八重山郡竹富町（大見謝）	大見謝川河口域周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示

31	園地	沖縄県八重山郡竹富町 (ユツン)	ユツン川河口域周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
32	園地	沖縄県八重山郡竹富町 (内離島 ^{うちばなり しま})	内離島炭鉱跡周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
33	園地	沖縄県八重山郡竹富町 (船浮 ^{ふたうき})	イダの浜周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
34	園地	沖縄県八重山郡竹富町 (古見 ^{こみ})	前良川河口のサキシマスオウノキ群落周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
35	野営場	沖縄県八重山郡竹富町 (鹿川 ^{かのかわ})	鹿川の自然環境を活かした探勝利用等のための野営場として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
36	野営場	沖縄県八重山郡竹富町 (南風見田 ^{はなみだ})	南風見田の自然環境を活かした探勝利用等のための野営場として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
37	園地	沖縄県八重山郡竹富町 (南風見田)	南風見田の浜周辺の自然探勝のための園地として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
38	園地	沖縄県八重山郡竹富町 (西表島西部)	自然体験観光における西表島西部地区のレクチャー等施設として整備する。	令和 4. 3. 29 告示
39	野営場	沖縄県石垣市 (底地)	底地浜での星空観察等の自然探勝のための野営場として整備する。	令和 6. 3. 28 告示
40	園地	沖縄県八重山郡竹富町 (トゥマール ^浜)	トゥマール浜での自然探勝のための園地として整備する。	令和 6. 3. 28 告示

(イ) 道路

a 車道

車道を次のとおりとする。

(表 20：道路（車道）表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	のそこだけ 野底岳線	起点－沖縄県石垣市（野底・国立公園境界） 終点－沖縄県石垣市（伊野田・国立公園境界）	野底岳	野底より野底岳山麓を経て伊野田へと至る車道として整備する	平成 19. 8. 1 告示
2	やらぶ 屋良部半島線	起点－沖縄県石垣市（崎枝・国立公園境界） 終点－沖縄県石垣市（崎枝・国立公園境界）	御神崎	屋良部半島周辺の海岸を探勝する車道として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
3	ひらくぼいばるま 平久保伊原間線	起点－沖縄県石垣市（平久保・国立公園境界） 終点－沖縄県石垣市（明石・国立公園境界） 起点－沖縄県石垣市（明石・国立公園境界） 終点－沖縄県石垣市（伊原間・国立公園境界）	平久保半島	平久保半島の牧野景観と海上景観を探勝する車道として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
4	名蔵アンパル線	起点－沖縄県石垣市（名蔵・国立公園境界） 終点－沖縄県石垣市（名蔵・国立公園境界）	名蔵アンパル	名蔵アンパルの干潟と海岸線を探勝する車道として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
5	しらはまはえみ 白浜南風見線	起点－沖縄県八重山郡竹富町（白浜） 終点－沖縄県八重山郡竹富町（南風見）	上原	西表島西部の白浜と西表島東部の南風見を結ぶ幹線道路であり、西表島を周遊する車道として野生動物の交通事故対策を盛り込んだ整備とする。	平成 28. 4. 15 告示
6	うらうちいなば 浦内稲葉線	起点－沖縄県八重山郡竹富町（浦内川河口） 終点－沖縄県八重山郡竹富町（浦内川中流）	浦内	浦内川河口から稲葉集落跡までを探勝する車道として整備する。	平成 28. 4. 15 告示

b 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 21：道路（歩道）表)

番号	線 路 名	区 間	主要経過地	整 備 方 針	旧計画との関係
1	うらうちがわふなうら 浦内川船浦線	起点－沖縄県八重山郡竹富町 (西表島浦内川カンピラ滝・歩道分岐点) 終点－沖縄県八重山郡竹富町 (西表島船浦)	テドウ山 ヒナイ滝	カンピラ滝からテドウ山，ヒナイ滝，船浦湾へと至る自然探勝歩道として整備する。	平成 15. 3. 31 告示
2	西表島横断線	起点－沖縄県八重山郡竹富町 (西表島浦内川 中流) 終点－沖縄県八重山郡竹富町 (西表島大富・車 道合流点)	カンピレー滝	カンピレー滝までの自然探勝路と西表島横断のための登山道として整備する	平成 15. 3. 31 告示
3	のそこだけ 野底岳線	起点－沖縄県石垣市 (野底・国立公園境界) 起点－沖縄県石垣市 (野底・車道合流点) 終点－沖縄県石垣市 (野底岳山頂)	野底岳	野底岳に至る登山道として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
4	おもと 於茂登岳線	起点－沖縄県石垣市 (平得・国立公園境界) 終点－沖縄県石垣市 (於茂登岳)		於茂登岳に至る登山道として整備する。	平成 19. 8. 1 告示
5	にしだがわ 西田川線	起点－沖縄県八重山郡竹富町 (西田川下流) 終点－沖縄県八重山郡竹富町 (西田川上流)	サンガラの滝	サンガラの滝までの登山道として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
6	ユツン滝古見岳 線	起点－沖縄県八重山郡竹富町 (ユツン橋) 終点－沖縄県八重山郡竹富町 (相良・車道合流 点)	ユツンの三段滝 古見岳	ユツンの三段滝及び古見岳に至る登山道として整備する。	令和 4. 3. 29 告示
7	なからがわ 仲良川線	起点－沖縄県八重山郡竹富町 (仲良川中流) 終点－沖縄県八重山郡竹富町 (仲良川上流)	ナーラの滝	ナーラの滝までの登山道として整備する。	平成 28. 4. 15 告示

(ウ) 運輸施設

運輸施設を次のとおりとする。

(表 22：運輸施設表)

番号	路線名	種類	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	浦内川線 うらうちがわ	船舶運送施設	起点－沖縄県八重山郡竹富町（浦内川） 終点－沖縄県八重山郡竹富町（浦内川）		浦内川での自然探勝のための船舶運送施設として整備する。	昭和 47. 12. 26 告示
2	浦内川河口 うらうちがわ	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町（浦内川河口）		浦内川河口での係留施設として整備する。	昭和 47. 12. 26 告示
3	軍艦岩 ぐんかんいわ	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町（軍艦岩）		浦内川軍艦岩での係留施設として整備する。	昭和 47. 12. 26 告示
4	仲間川線 なかつまがわ	船舶運送施設	起点－沖縄県八重山郡竹富町（仲間川） 終点－沖縄県八重山郡竹富町（仲間川）		仲間川での自然探勝のための船舶運送施設として整備する。	昭和 47. 12. 26 告示
5	仲間川中流	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町（仲間川中流）		西舟付園地（展望施設）を仲間川から利用するための係留施設として整備する。	昭和 55. 12. 17 告示
6	大富 おおとみ	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町（大富）		仲間川河口での係留施設として整備する。	昭和 47. 12. 26 告示

7	川平石崎	係留施設	沖縄県石垣市地先海面（川平石崎）		川平石崎周辺での海域景観の自然探勝のため船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
8	米原ブカ ピー	係留施設	沖縄県石垣市地先海面（米原ブカピー）		米原ブカピーでの海域景観の自然探勝のため船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
9	御神崎	係留施設	沖縄県石垣市地先海面（御神崎）		御神崎での海域景観の自然探勝のため船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
10	白保	係留施設	沖縄県石垣市地先海面（白保）		白保での海域景観の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
11	鳩間島バ ラス	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町地先海面（鳩間島バラス）		鳩間島バラス周辺から宇那利崎にかけてのサンゴ礁等の海域景観の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
12	外離島	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町地先海面（外離島）		外離島での海域景観の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
13	仲良川中 流	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町（仲良川中流）		仲良川周辺の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
14	西表島鹿 川中瀬	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町地先海面（西表島鹿川中瀬）		鹿川湾周辺の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
15	石西礁湖 北礁	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町地先海面（石西礁湖北礁）		竹富島北側から小浜島まで続くリーフー体の海域景観の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示

16	竹富島シ モビシ	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町字竹富地先海面（竹富島シモビシ）		竹富島シモビシでの海域景観の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
17	竹富島南 沖礁	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町地先海面（竹富島南沖礁）		竹富島南沖礁での海域景観の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
18	あらぐすくしま 新城島 マイビシ	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町地先海面（新城島マイビシ）		新城島マイビシでの海域景観の自然探勝のための船舶の係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示
19	くろしま なかもと かいがみ 黒島仲本 海岸	係留施設	沖縄県八重山郡竹富町（黒島仲本海岸）		黒島での海域景観の自然探勝のための係留施設として整備する。	平成 28. 4. 15 告示

(2) 自然体験活動計画

自然体験活動計画を次のとおりとする。

1. 本計画の対象地域

西表地域（沖縄県八重山郡竹富町の一部）

2. 自然体験活動で対象とする当該公園の自然、人文文化の特徴

西表石垣国立公園西表地域は、1. 基本方針において記載のとおり、多くの新固有種をはじめとする絶滅危惧種など希少な動植物の宝庫であり、そこには近隣島しょ間で分離・結合を繰り返した地史が背景にある。また、原生的な亜熱帯性照葉樹林、豊富な雨量に支えられた多くの溪流や滝、河川、河口域に広がる日本最大のマングローブ林、日本最大のサンゴ礁海域といった我が国を代表する亜熱帯特有の自然景観と、こうした自然環境を背景に育まれてきた特有の町並みや祭祀などの文化景観も特色である。

3. 質の高い自然体験活動の促進に係る方針

当該地域においては、1. 基本方針及び前項にて記載した当該地域の特徴を踏まえ、次の方針により質の高い自然体験活動を促進する。

ア) 当該地域の価値や特徴を踏まえた望ましい利用の提供

当該地域の優れた自然景観や人文景観を活用し、1. 基本方針において記載した当該地域のストーリー（物語）を効果的に伝えるために必要な要素（ルール、ガイドンス等）を整理しつつ、利用者が、その優れた自然、人文文化の魅力を存分に味わい、その成り立ちや特徴を体得することのできる自然体験活動を提供する。このために、自然体験活動を提供する主体と地域が連携してプログラムの開発や質の向上に取り組む。これらにより、滞在型・宿泊型の利用への転換等を進め、地域振興に資することに留意する。

イ) 自然環境の保全を前提とした持続可能な利用の促進

自然体験プログラムの開発・提供にあたっては、自然環境の保全を前提とした持続可能な利用を前提とする。また、自然体験活動を通じて利用者の自然環境の保全に対する意識向上を図るとともに、自然の利用によって得られた収益が自然環境の保全や管理に還元される仕組みの導入を図る。

ウ) フィールド特性に合わせた人数制限、ルールの導入

本地域については、西表島エコツーリズム推進全体構想において自然環境や社会環境の観点から、質の高い自然体験活動を促進する区域と原則として利用の促進を図らない区域等にゾーニングし、エリアやフィールドの特性に応じた利用者の人

数制限の導入やルールの設定、マナーの周知等を行うこととされていることから、これとの整合を図る。

エ) 自然体験活動の質の確保・向上に向けた知識の共有、人材育成

安全で質の高い自然体験の機会を広範かつ持続的に提供できるよう、自然体験活動を提供する主体の質の確保・向上に向けた知識の共有や、事業者や地域関係者が利用者に対して共通のストーリー（物語）を伝え、地域が一体となって利用者に感動と学びを提供していけるよう、人材の育成を行う。

オ) 地域コミュニティ、歴史・文化的資源の尊重と配慮

国立公園内に、地域住民の生活の場も含まれるため、地域コミュニティ、歴史・文化資源（地域の信仰や風習を含む）を尊重し、地域住民の生活・文化に負担がかからないよう配慮する。

カ) 定期モニタリング及びフィールドの適正管理

持続的にフィールドを活用できるよう、定期的に自然環境や利用状況のモニタリングを行うとともに、フィールドの特性や自然体験活動に応じた点検・修繕を図る。

キ) 国内外の利用者等への情報発信

上記の方針に基づく取組みを発信することで、国内外に広く周知するとともに、自然環境に配慮したサステナブルツーリズムの実現を目指す地域としてのブランド力を高める。

4. 地域ごとに促進する自然体験活動

本地域には自然環境及び社会環境の観点から異なる特性を持つ区域が存在している。これらの特性を踏まえ、質の高い自然体験を提供するため、西表島エコツーリズム推進全体構想におけるゾーニングの考え方との整合を図り、本地域を3つの利用区分に分け、それぞれ次の自然体験活動を促進する。

ア) 自然体験区域

自然環境を保全し質の高い利用を行うために西表島エコツーリズム推進全体構想において設定された利用ルールに則り、オーバーユースや自然環境への影響に配慮しながら行われ、利用者が多種多様な固有種及び希少種、亜熱帯特有の自然景観の魅力を存分に味わい、その成り立ちや価値を学ぶことのできる、カヌー・カヤック、スタンドアップパドル、釣り、沢遊び・キャニオニング、遊覧船・ボートクルーズ、トレッキング、洞窟探検・ケイビング、自然・生き物観察、ホタルツアー、サガリバナツアー、星空ツアー、文化・歴史ツアー、スノーケリング、ダイビング等の自然体験活動。

イ) 一般利用区域

西表島エコツーリズム推進全体構想において設定された一般利用者向けの利用ルール、島内での一般的なマナーや各観光施設の設定したルールを守りながら行われ、利用者が当該地域の自然、人文文化の特徴に触れ、その成り立ちや価値を学ぶことのできる、カヌー・カヤック、スタンドアップパドル、釣り、沢遊び・キャニオニング、遊覧船・ボートクルーズ、トレッキング、洞窟探検・ケイビング、自然・生き物観察、ホタルツアー、サガリバナツアー、星空ツアー、文化・歴史ツアー、スノーケリング、ダイビング等の自然体験活動。

ウ) 保護区域

原則として、原生的な自然環境や希少な動植物等の自然観光資源の保全を重視する。

4 参考事項

(1) 過去の経緯

ア 公園区域

昭和 47 年 4 月 18 日	琉球政府による西表政府立公園の指定
昭和 47 年 5 月 15 日	沖縄の復帰に伴う環境庁関係法令の運用の特別措置に関する政令により西表政府立公園が西表国立公園と見なされる
昭和 47 年 12 月 26 日	公園区域の指定
平成 15 年 3 月 31 日	公園区域の再検討（区域の明確化及び港湾区域の変更に伴う区域の拡張）
平成 19 年 8 月 1 日	公園区域の変更（石垣島の一部及びその周辺海域の編入に伴い拡張）
平成 24 年 3 月 27 日	公園区域の変更（鳩間島、波照間島、西表周辺海域の編入に伴う拡張及び区域の明確化に伴う削除）
平成 28 年 4 月 15 日	公園区域の変更（西表島及びその沿岸海域の公園区域拡張、石垣島の公園区域拡張及び区域の明確化に伴う削除）
令和 2 年 2 月 26 日	特別地域の決定
令和 6 年 3 月 28 日	公園区域の変更（石垣島の名蔵湾を拡張）

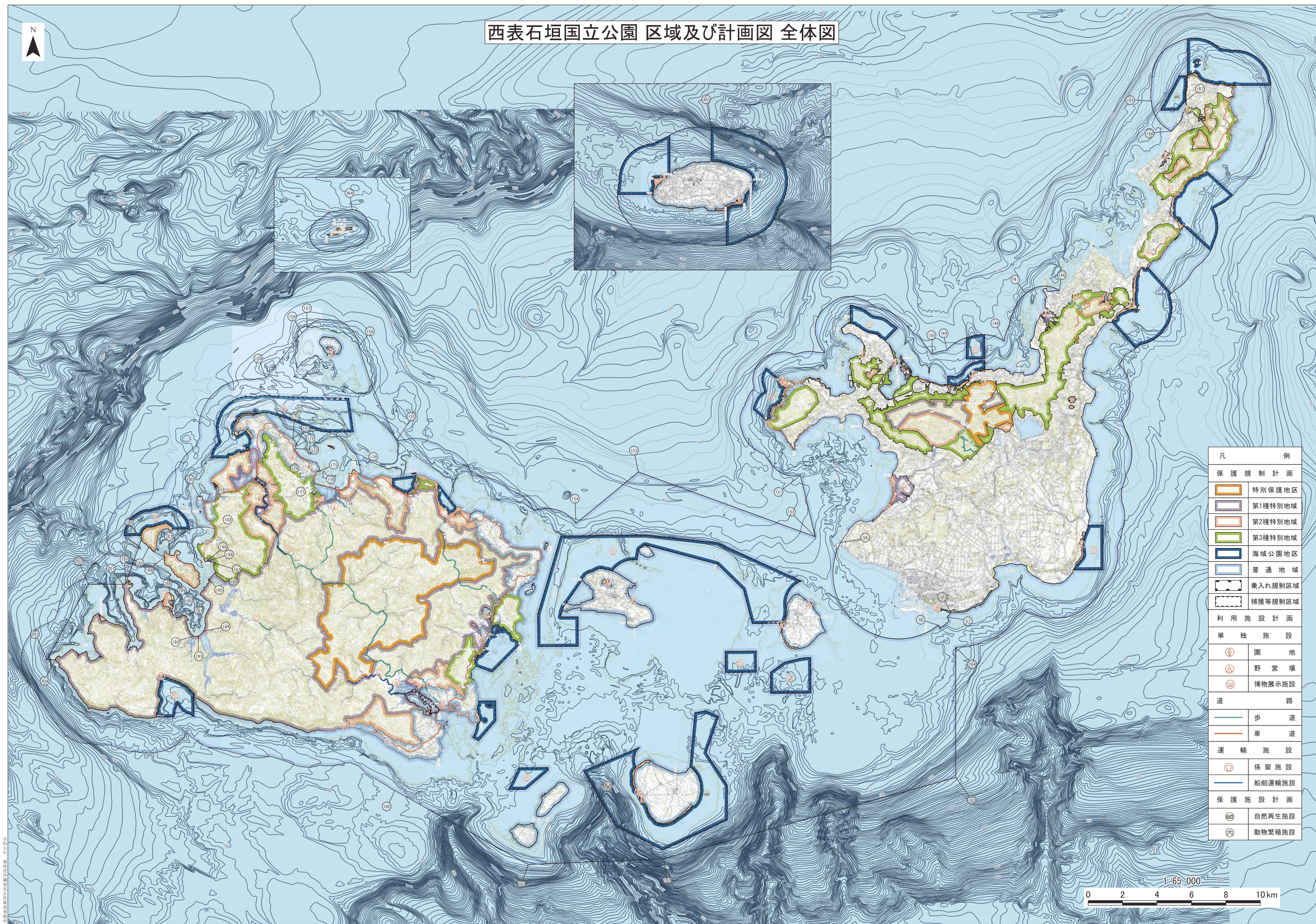
イ 保護規制計画

昭和 47 年 12 月 26 日	特別地域（未区分）の指定
昭和 52 年 7 月 1 日	海中公園地区の指定（4 地区）
平成 2 年 12 月 1 日	乗入れ規制地域の指定（2 地域）
平成 15 年 3 月 31 日	特別地域の地種区分の決定、特別保護地区の決定
平成 19 年 8 月 1 日	特別地域、特別保護地区及び海域公園地区（4 地区）の決定
平成 24 年 3 月 27 日	特別地域、特別保護地区及び海域公園地区（16 地区）の決定
平成 28 年 4 月 15 日	特別地域、特別保護地区及び海域公園地区（23 地区）の決定
令和 2 年 2 月 26 日	特別地域の決定
令和 6 年 3 月 28 日	普通地域（海域）の指定

ウ 利用施設計画

昭和 47 年 12 月 26 日	利用計画の決定（園地 5、宿舎 1、避難小屋 2、休憩所 2、博物館 1、博物展示施設 7、車道 1、歩道 4、船舶運送施設 3、係留施設 5）
昭和 50 年 12 月 4 日	利用計画の決定（集団施設地区追加 1、園地削除 1、宿舎削除 1、休憩所削除 1、博物館削除 1）
昭和 52 年 9 月 8 日	利用計画の決定（園地追加 1）

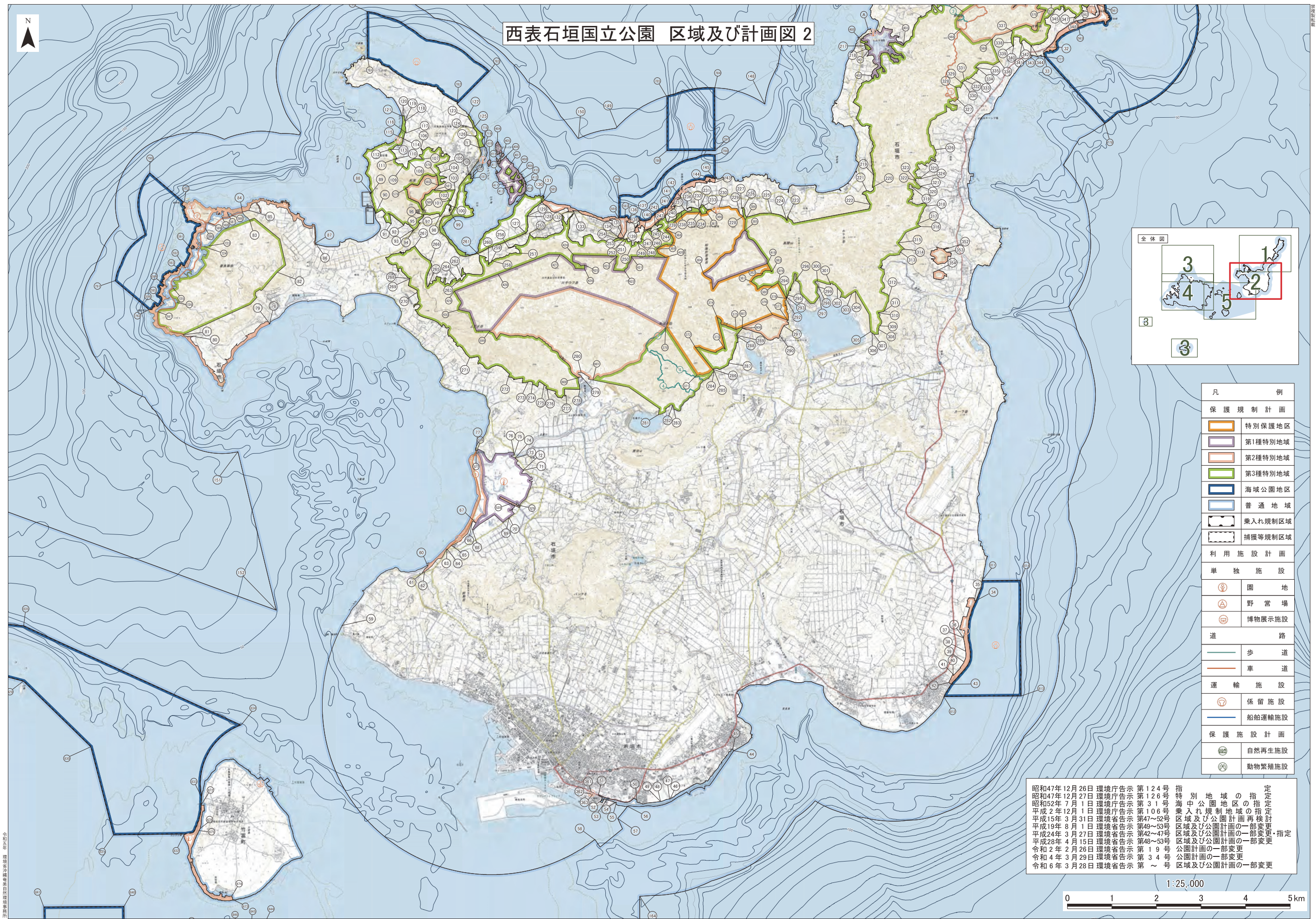
昭和 55 年 12 月 17 日	利用計画の決定（園地追加 2、水泳場追加 1、博物展示施設追加 1、博物展示施設削除 1、歩道変更 3、歩道追加 1、歩道削除 1、係留施設追加 1）
平成 15 年 3 月 31 日	利用計画の決定（園地追加 1、博物展示施設追加 3、歩道変更 4 路線→3 路線、集団施設地区削除 1、園地削除 1、避難小屋 2、歩道変更 3、歩道追加 1、歩道削除 1、係留施設追加 1、展示施設追加 1、博物展示施設削除 5、車道削除 1、歩道削除、運輸施設削除 2）
平成 19 年 8 月 1 日	利用計画の決定（園地追加 8、野営場追加 1、車道追加 2、博物展示場削除 5、車道削除 1、歩道削除 1、運輸施設削除 2）
平成 24 年 3 月 27 日	利用計画の決定（園地追加 3）
平成 28 年 4 月 15 日	利用計画の決定（園地追加 1 2、野営場追加 4、車道追加 4、歩道追加 3、係留施設追加 1 3、歩道変更 2、水泳場削除 1、歩道削除 1、係留施設削除 1）
令和 4 年 3 月 29 日	利用計画の決定（園地追加 1、歩道変更 1）
令和 6 年 3 月 28 日	利用計画の決定（園地追加 1、野営場追加 1、歩道変更 1、園地削除 1）
エ 保護施設計画	
平成 17 年 7 月 12 日	保護計画の決定（自然再生施設追加 1）
平成 28 年 4 月 15 日	保護計画の決定（自然再生施設追加 2、動物繁殖施設追加 1、自然再生施設変更 1）



西表石垣国立公園 区域及び計画図 全体図

凡 例	
保 護 規 制 計 画	
	特別保護地区
	第1種特別地域
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	海域公園地区
	普 通 地 域
	乗入れ規制区域
	捕獲等規制区域
利 用 施 設 計 画	
単 独 施 設	
	園 地
	野 営 場
	博物展示施設
道 路	
	歩 道
	車 道
運 輸 施 設	
	保 留 施 設
	船舶運輸施設
保 護 施 設 計 画	
	自然再生施設
	動物繁殖施設

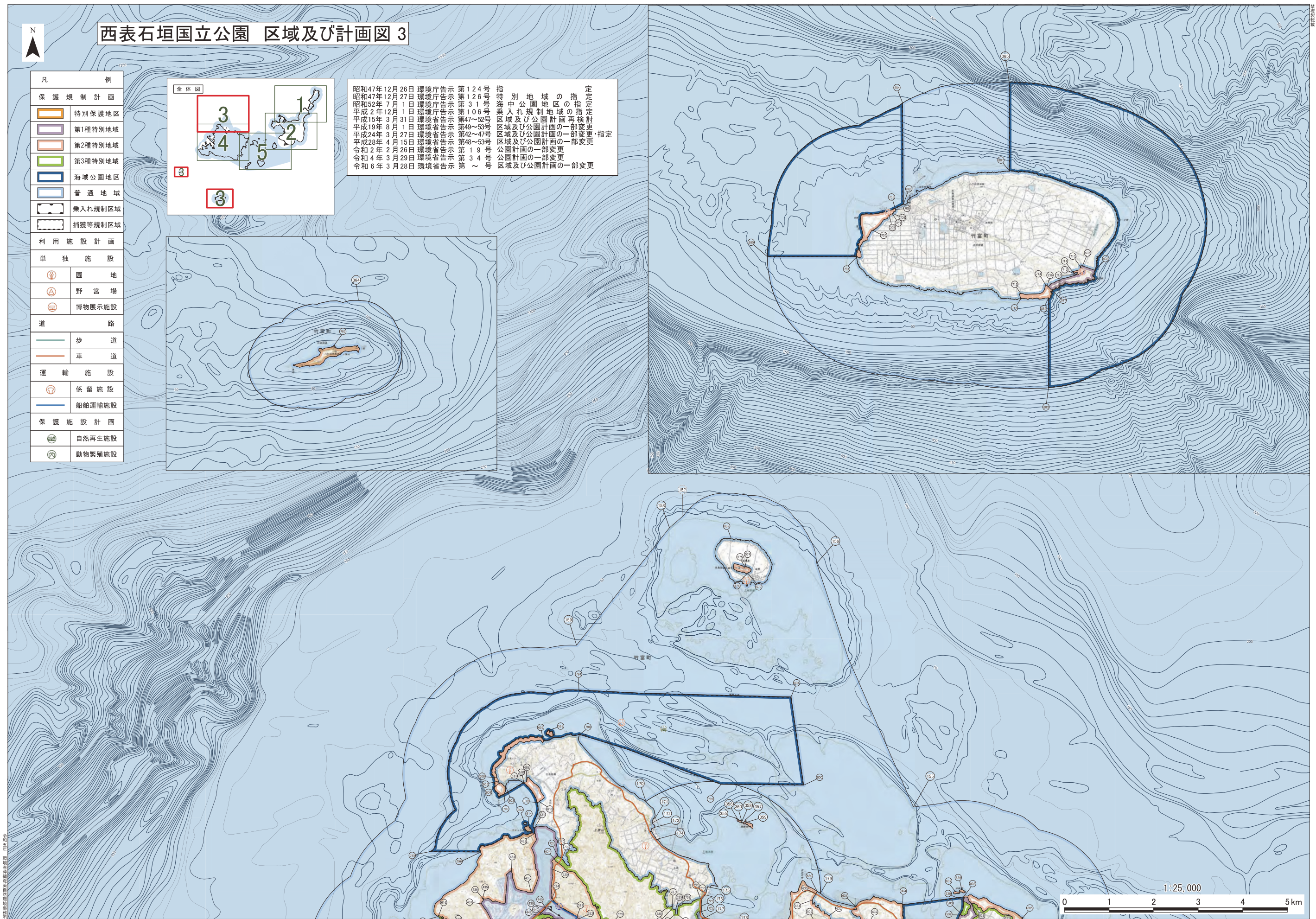
測量法に基づき(国土地理院長承認(複製)R5.4H 30) 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない

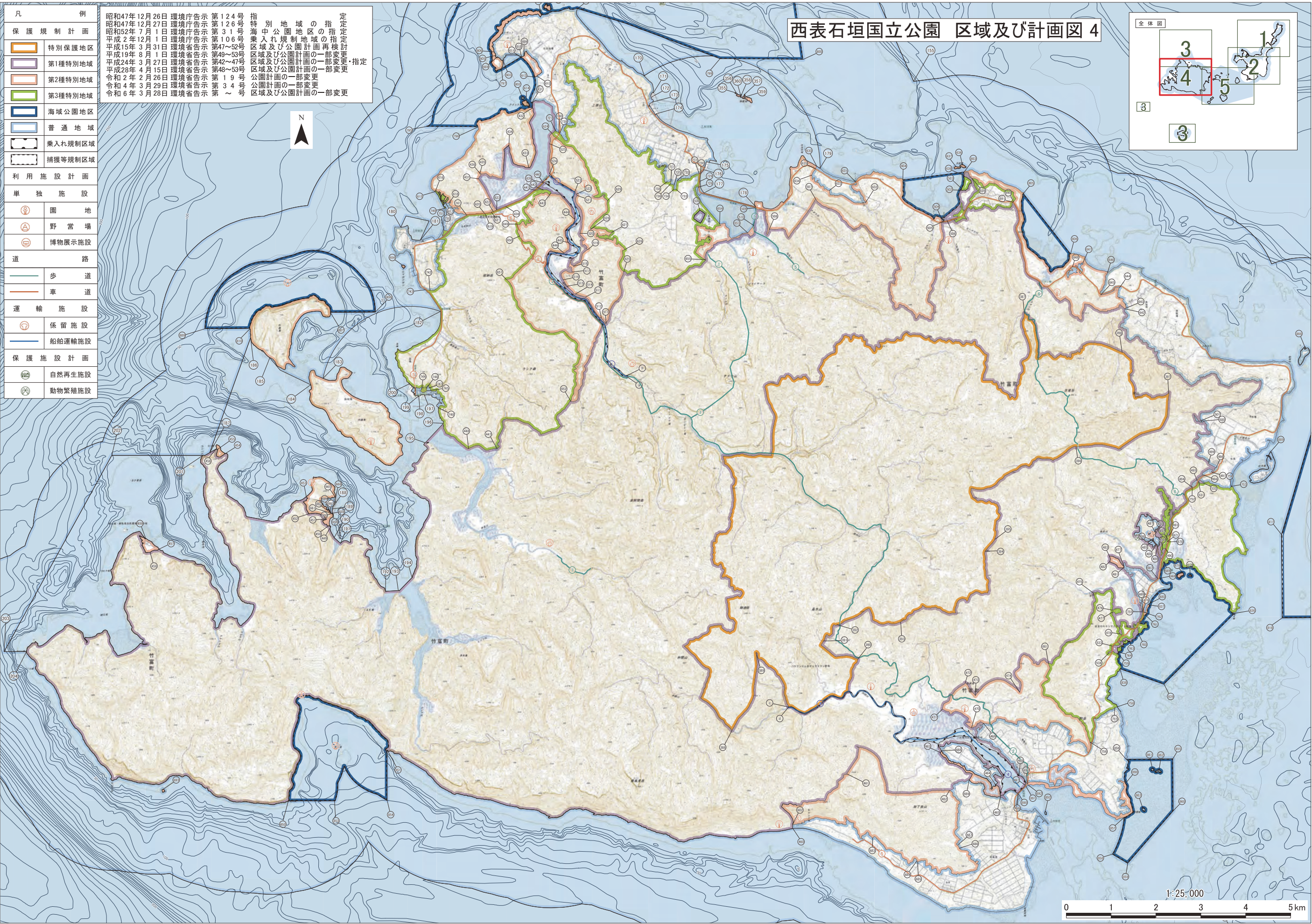


国土院提供地図データ 国土院提供地図データ

測量法に基づく(国土院提供地図データ)R 5.0H 30 本製品を複製する場合には、国土院提供地図データの承認を得なければならぬ

国土院提供地図データ

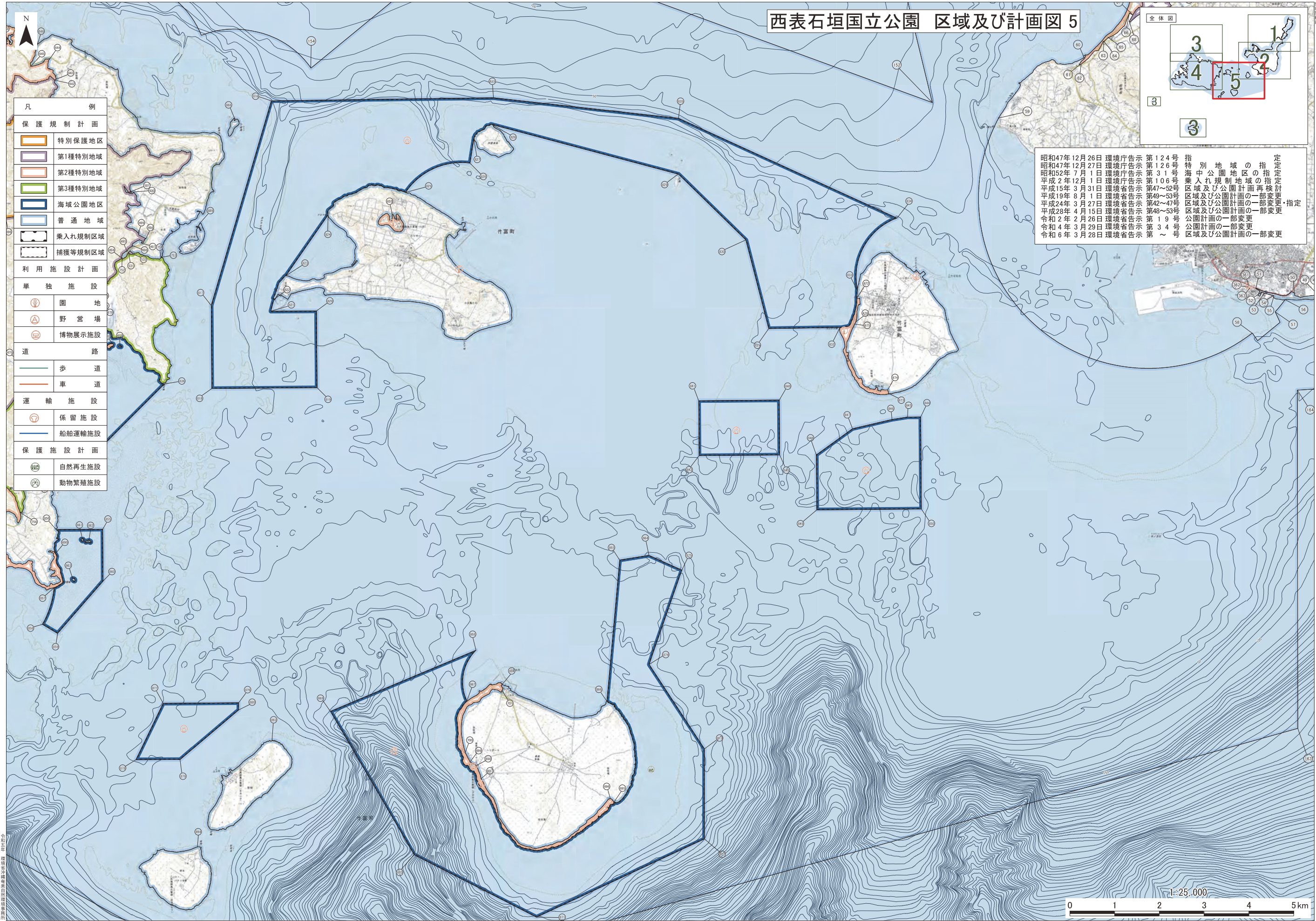




測量法に基づき(国土地理院長承認)(複製)R5/HF30 本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ

国土地理院

西表石垣国立公園 区域及び計画図 5



測量法に基づき(国土地理院長承認(複製)R5.11.30) 本製品を複製する場合、国土地理院長の承認を得なければならぬ

西表石垣公園区域及び計画図 区域凡例

[illegible]